

## 令和6年度決算 事業体系図

所属名： 農林水産課

(単位：千円)

款	項	目	事業番号	事業名	最終予算現額	決算額
5 農林水産業費	1 農業費	2 農業総務費	134	一般事務	5,818	5,184
			小計		<b>5,818</b>	<b>5,184</b>
5 農林水産業費	1 農業費	3 農業振興費	145	農業振興対策事業	17,488	11,109
			162	担い手育成対策事業	24,381	18,562
			164	野菜振興対策事業	17,523	12,529
			801	有害鳥獣対策事業	8,542	7,760
			899	果樹振興対策事業	61,079	46,216
			1138	経営所得安定対策推進事業	6,303	4,090
			1139	農業後継者育成対策事業	39,960	33,044
			1237	農地中間管理事業	6,040	5,770
			1412	農業研修事業	6,013	3,744
			1443	スマート農業推進事業	2,570	1,050
		小計		<b>189,899</b>	<b>143,874</b>	
5 農林水産業費	1 農業費	4 畜産業費	175	畜産振興対策事業	20,979	13,681
			小計		<b>20,979</b>	<b>13,681</b>
5 農林水産業費	1 農業費	5 農地費	178	一般事務	860	545
			180	しっかり守る農林基盤整備事業	13,867	12,646
			184	土地改良事業の推進	94,957	88,443
			185	国営かんがい排水事業	17,463	17,431
			1298	ため池防災減災対策推進事業	39,400	6,876
			1413	農地中間管理機構関連農地整備事業	12,095	10,680
			1566	田越・笠見地区浸水対策事業	111,325	46,580
			1577	日本型直接支払交付金事業	151,273	150,077
			1624	農業体質強化基盤整備促進支援事業	11,885	11,831
		小計		<b>453,125</b>	<b>345,109</b>	
5 農林水産業費	2 林業費	1 林業総務費	194	一般事務	7,676	6,747
			小計		<b>7,676</b>	<b>6,747</b>
5 農林水産業費	2 林業費	2 林業振興費	196	森林病虫害等防除事業	676	616
			201	林業振興対策事業	32,390	30,177
			小計		<b>33,066</b>	<b>30,793</b>

5 農林水産業費	3 水産業費	1 水産総務費	203	水産振興対策事業	37,304	30,332
			小計		<b>37,304</b>	<b>30,332</b>
10 災害復旧費	1 農林水産業災害復旧費	1 現年発生農地災害復旧費	667	現年発生農地災害復旧事業	5,123	3,970
			770	現年発生農地小災害復旧事業	350	275
			小計		<b>5,473</b>	<b>4,245</b>
10 災害復旧費	1 農林水産業災害復旧費	2 現年発生農業用施設災害復旧費	354	現年発生農業用施設災害復旧事業	21,561	16,068
			669	現年発生農業用施設小災害復旧事業	863	863
			小計		<b>22,424</b>	<b>16,931</b>
10 災害復旧費	1 農林水産業災害復旧費	3 現年発生林道災害復旧費	668	現年発生林道災害復旧事業	4,705	2,589
			小計		<b>4,705</b>	<b>2,589</b>
船上山発電所管理特別会計			1244 等	船上山小水力発電所施設管理運営事業	27,624	21,282
			小計		<b>27,624</b>	<b>21,282</b>
所属合計					<b>808,093</b>	<b>620,767</b>

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	134	事業名	一般事務	会計区分	一般会計																																																																
担当課	農林水産課	担当係	農林水産振興係	□新規 ■継続																																																																	
予算区分	款 5 農林水産業費	項 1 農業費	目 2 農業総務費																																																																		
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成																																																																	
	重点事業 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり																																																																				
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳																																																																		
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源																																																														
令和6年度	5,818	5,184	0	173	0	0	5,011																																																														
事業の目的 (なんのために)	農林水産課の管理する公園当施設の維持管理を行います。																																																																				
細事業等	内容			決算額 (千円)	財源内訳																																																																
農業経営基盤強化資金利子補給事業費補助金	農業経営基盤強化資金を借り受けた、当該認定農業者等の利子負担の軽減を図る。			347	県1/2、町1/2																																																																
県山村振興協議会負担金	県山村振興協議会負担金			63	単町																																																																
果樹等経営安定資金利子補給金	台風などの自然災害により、収入が著しく減少した農家が借りた経営安定資金の利子負担の軽減を図る。 事業主体：JA			55	単町																																																																
施設管理費等 【改善】	地域改善対策事業で建設した施設（11施設）の火災保険料の支出 白鳳館、ふれあい交流会館、大父木地親水公園の管理運営費 公用車（4台）の維持管理費等			4,717	単町																																																																
	合計			5,182																																																																	
事業の主な実施状況	<p>各公園等施設を適切に維持管理するために、草刈りや光熱水費といった以下の経費を支出しました。</p> <p>【維持管理費】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>公園等施設名</th> <th>金額(円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>白鳳館・水辺公園</td> <td>799,324</td> <td>管理委託</td> </tr> <tr> <td>大父木地親水公園</td> <td>831,637</td> <td>管理委託</td> </tr> <tr> <td>ふれあい交流会館</td> <td>1,041,809</td> <td>管理委託</td> </tr> </tbody> </table> <p>【修繕費】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>公園等施設名</th> <th>金額(円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">白鳳館</td> <td>455,400</td> <td>浄化槽フロア-修繕工事</td> </tr> <tr> <td>33,000</td> <td>浄化槽タイマー取換</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">ふれあい交流会館</td> <td>136,400</td> <td>換気扇修繕工事</td> </tr> <tr> <td>19,250</td> <td>雨樋修繕工事</td> </tr> <tr> <td>17,600</td> <td>トイレ照明取換</td> </tr> <tr> <td>4,290</td> <td>ガスコンロ修理</td> </tr> <tr> <td>漁村センター</td> <td>69,300</td> <td>高輝度型誘導灯修繕工事</td> </tr> <tr> <td>研修生宿泊施設</td> <td>4,400</td> <td>量水器修繕工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>【火災保険料】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>公園等施設名</th> <th>金額(円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農林課管理施設</td> <td>281,032</td> <td>12件</td> </tr> </tbody> </table> <p>消耗品費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>金額(円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本農業新聞購読料</td> <td>10,492</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>テレビ受信料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>金額(円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NHK放送受信料</td> <td>23,172</td> <td>12件</td> </tr> </tbody> </table> <p>公用車管理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>金額(円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公用車ガソリン代</td> <td>297,495</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公用車共済分担金</td> <td>74,990</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							公園等施設名	金額(円)	備考	白鳳館・水辺公園	799,324	管理委託	大父木地親水公園	831,637	管理委託	ふれあい交流会館	1,041,809	管理委託	公園等施設名	金額(円)	備考	白鳳館	455,400	浄化槽フロア-修繕工事	33,000	浄化槽タイマー取換	ふれあい交流会館	136,400	換気扇修繕工事	19,250	雨樋修繕工事	17,600	トイレ照明取換	4,290	ガスコンロ修理	漁村センター	69,300	高輝度型誘導灯修繕工事	研修生宿泊施設	4,400	量水器修繕工事	公園等施設名	金額(円)	備考	農林課管理施設	281,032	12件	品名	金額(円)	備考	日本農業新聞購読料	10,492		品名	金額(円)	備考	NHK放送受信料	23,172	12件	品名	金額(円)	備考	公用車ガソリン代	297,495		公用車共済分担金	74,990	
公園等施設名	金額(円)	備考																																																																			
白鳳館・水辺公園	799,324	管理委託																																																																			
大父木地親水公園	831,637	管理委託																																																																			
ふれあい交流会館	1,041,809	管理委託																																																																			
公園等施設名	金額(円)	備考																																																																			
白鳳館	455,400	浄化槽フロア-修繕工事																																																																			
	33,000	浄化槽タイマー取換																																																																			
ふれあい交流会館	136,400	換気扇修繕工事																																																																			
	19,250	雨樋修繕工事																																																																			
	17,600	トイレ照明取換																																																																			
	4,290	ガスコンロ修理																																																																			
漁村センター	69,300	高輝度型誘導灯修繕工事																																																																			
研修生宿泊施設	4,400	量水器修繕工事																																																																			
公園等施設名	金額(円)	備考																																																																			
農林課管理施設	281,032	12件																																																																			
品名	金額(円)	備考																																																																			
日本農業新聞購読料	10,492																																																																				
品名	金額(円)	備考																																																																			
NHK放送受信料	23,172	12件																																																																			
品名	金額(円)	備考																																																																			
公用車ガソリン代	297,495																																																																				
公用車共済分担金	74,990																																																																				

公用車リース借上料	619,850	4台
-----------	---------	----

農家の利子負担の軽減を図るため、以下の補助金を交付しました。

補助金の名称	金額(円)	備考
農業経営基盤強化資金利子補助金	346,913	11件
果樹等経営安定資金利子補助金	54,963	11件

負担金を支払いました。

負担金の名称	金額(円)	備考
鳥取県地域振興対策協議会	62,700	

担当課による評価		A 相当程度進展あり
事業目的の 達成状況	<b>【前年度の課題の概要】</b> こまめな維持管理の継続と、適切な修繕を行う必要があります。 また、白鳳館の施設改修等については、社会教育課と連携し取り組む必要があります。	
	<b>【前年度課題についての対応及び成果】</b> 公園等施設の管理委託者と連携しながら住民が利用しやすいように維持管理を行いました。	
今後の取り組みの方向	<b>【担当課による評価の理由】</b> 適切に維持管理が行われたため、A 相当程度進展ありとしました。 白鳳館の施設改修等については、社会教育課と連携し取り組む必要があります。 大父木地親水公園の管理について継続・廃止も含め検討する必要があります。	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	145	事業名	農業振興対策事業	会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課	担当係	農林水産振興係	□新規 ■継続			
予算区分	款 5 農林水産業費	項 1 農業費	目 3 農業振興費				
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成			
	重点事業 次世代につなげる産業と「食」が広がる新たな魅力づくり						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	17,488	11,109		4,875	3,173		3,061
事業の目的 (なんのために)	地元の農林水産物を県内外の消費者に広くPRし、農林水産業の生産・販売拡大を促進する。意欲のある農業経営体の取り組みを支援することで、地域農業の振興と活性化を図る。						
細事業等	内容		決算額 (千円)	財源内訳			
園芸産地活力度進事業費補助金	成長・発展や新たな特産物の育成、生産性向上に取組む農業者に対し費用の一部を助成し、野菜園芸品目等の更なる生産振興を図りました。 補助率：1/2（県1/3、町1/6） ① J A 鳥取中央（フロッコリー育苗機器） 事業費7,900,000円×1/2 ② 琴浦甘藷生産組合（機械導入） 事業費5,000,000円×1/2 ③ 琴浦西瓜生産部（アシストスーツ導入） 事業費38,250円×1/2		6,469	県2/3、町1/3			
農業経営収入保険制度加入促進事業補助金	収入保険加入に係る事務費賦課金を助成することにより、農業者の加入促進を図りました。 助成額：新規4,500円×12人 継続3,200円×86人		329	単町			
環境保全型農業直接支払交付金	有機農業などに取り組む農業者団体に対して、交付金の支払いを行いました。 【有機農業の取組】 実施主体：東伯有機米生産部 取組面積：625a 補助金額：12,000円/10a×625a		750	国1/2、県1/4、町1/4			
自走式草刈機購入助成事業補助金	草刈機の購入費を助成することにより、肥料や資材高騰の影響を強く受ける農家の経済的負担軽減を図るとともに、草刈機を導入・更新することで作業効率を上げ、省力化を図るとともに、営農意欲の促進を図ることで農地の維持を行います。 【令和6年度交付実績】 ○人数 67人 ○補助額 3,173,282円（補助率：認定農業者1/3、その他1/4）		3,173	単町			
中部発！食のパラダイスフェスティバル負担金	令和6年6月22日(土)、23日(日)に開催した中部発！食のパラダイスフェスタ2024について、県及び中部市町と連携し開催運営及び運営費負担を行いました。 出展78団体、来場者数 15,500人		388	単町			
	合計		11,109				
事業の主な実施状況	【園芸産地活力度進事業】						
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>つる切り機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>取機機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>マルチャー</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">琴浦甘藷生産組合の取組み（機械導入）</p>						
事業目的の達成状況	【自走式草刈機購入費助成】						
	<div style="text-align: center;">  <p>自走式草刈機</p> </div>						
事業目的の達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり			
	<p><b>【前年度の課題の概要】</b>                  農業経営収入保険加入促進については、増加する自然災害に対し、引き続き農業経営収入保険加入促進を図る必要があります。                  環境保全型農業の推進については、国、県が目指す有機農業の計画に沿って取組の拡大を検討する必要があります。                  その他、産地の維持拡大、ブランド化については生産者、関係機関と一体となって、担い手育成対策と伴に進めていくことが必要です。</p> <p><b>【前年度課題についての対応及び成果】</b>                  農業経営収入保険加入促進については、98人（昨年比△58人）と増加する自然災害への対応のため掛金の増額などが生じ人数を減らしましたが、加入者に対し助成を行うことができました。                  環境保全型農業の推進については、取組面積6.3ha（昨年比△2.4ha）と面積を減らしたものの、東伯有機米生産部の有機農業の取組を支援しました。                  園芸産地活力度進事業や自走式草刈機助成事業を実施し、担い手等農業者の生産拡大、作業効率化に寄与しました。</p>						
	【担当課による評価の理由】						

	希望する者に対し、適切に事業の実施を図ることができたことから、「A 相当程度進展あり」にしました。
今後の取り組みの方向	農業経営収入保険加入促進については、増加する自然災害への対応のため掛金が増加していることから加入促進のため更なる支援が必要です。 環境保全型農業の推進については、国等において環境と調和した農業生産のクロスコンプライアンスチェックの本格的導入がなされることから、引き続き支援が必要です。 産地の維持拡大、ブランド化に向けて生産者、関係機関と一体となって、担い手育成対策とともに進めていく必要があります。

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	162	事業名	担い手育成対策事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		□新規 ■継続			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費			
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成					
	重点事業		次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳						
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源		
令和6年度	24,381	18,562	0	12,178	624	5,400	360		
事業の目的 (なんのために)	農地の流動化や地域農業の振興を図るため、認定農業者など地域の中心となる経営体の活動支援、育成を行います。								
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳		
経営改善計画審査会報償金	認定農業者の認定に必要な農業経営改善計画の認定審査会を開催しました。 報償費 2,000円×5人					10	単町		
東伯地区農業士会負担金	農業後継者の育成を目的とする東伯地区農業士会の活動を支援しました。 負担金 7千円×5名					35	単町		
とち目指す！担い手強化支援事業費補助金	旧：がんばる農家プラン事業 意欲ある農業者等を育成し、地域農業の振興、活性化を図ります。 プラン実現に必要な機械や施設導入経費を支援しました。 ミニトマトプラン (個人：2年目) 2,639千円 飼料稲プラン (組合：1年目) 10,587千円 米プラン (個人：3年目) 5,041千円					18,267	県2/3、町65、北栄町624、過疎対策事業債5,400		
認定農業者協議会活動補助金	認定農業者で組織する協議会の活動を支援することで、担い手農業者の確保と育成を進めました。 補助金 250千円 (上限額)					250	単町		
	合計					18,562			
事業の主な実施状況	担当課による評価 B 進展が大きくない								
事業目的の達成状況	<p><b>【前年度の課題の概要】</b> 認定農業者は地域農業の中核となる存在であるが、農業従事者の高齢化、資材高騰等による農業所得減などの影響により、認定農業者を目指す農業者が少なくなっている。</p> <p><b>【前年度課題についての対応及び成果】</b> 認定農業者で構成する協議会活動を活発にすることにより、認定農業者を認知度を向上させ、認定者数を維持した。</p> <p><b>【担当課による評価の理由】</b> 認定農業者を更新しない農業者もありつつも、新たに認定を希望する農業者もいたため。</p>								
今後の取り組みの方向	認定農業者制度の周知、メリットなどを農業者に幅広く周知する。								

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	164	事業名	野菜振興対策事業	会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課	担当係	農林水産振興係	□新規 ■継続			
予算区分	款 5 農林水産業費	項 1 農業費	目 3 農業振興費				
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生まれ出す地域経済好循環のまちづくり			① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成			
	重点事業 次世代につなげる産業と「食」が広がる新たな魅力づくり						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	17,523	12,529	0	8,899	3,200	0	430
事業の目的 (なんのために)	価格差補給交付金の資金造成を行い、市場での販売価格が市場平均価格を大幅下回った場合の生産農家が受ける打撃の軽減を図ります。琴浦ブロッコリー産地の生産拡大に取組み、地域農業の活性化を図ります。						
細事業等	内容		決算額 (千円)	財源内訳			
とちを目指す！産地強化支援事業補助金	令和3年度に策定した琴浦ブロッコリー地域プランの実現に向け、規模拡大や生産性の向上、品質向上に取り組みました。 事業期間：令和4年度～令和8年度 事業費上限：1億円（5年間） ソフト事業：10,903,836円×2/3 ハード事業：8,663,000円×1/2		11,601	県8,340、町61、ふるさと未来夢基金3,200			
県ブランド野菜価格安定対策事業負担金	春キャベツ・春ネギの販売価格が産地（農協）の平均価格を下回った際、その差額を補填します。 負担率：交付金造成額の15% 令和6年度は交付がありませんでした。		0	単町			
生産技術向上・規模拡大支援補助金（ブロッコリー事業）	作業の省力・効率化、品質向上に係る機械・施設等の導入に必要な経費を助成しました。 事業主体：生産部（個人1件） 補助金額：事業費228,000円×1/2 事業内容：スパイダーモア		114	県1/3、町1/6			
基盤整備支援補助金（ブロッコリー事業）	遊休農地の解消等による農地の生産環境維持及び条件整備等に必要な経費を助成しました。 事業主体：生産部（個人1件） 補助金額：事業費506,000円×10/10 事業内容：果樹園跡整備22a		506	県1/2、町1/2			
栽培技術確立支援事業補助金（ブロッコリー事業）	運作障害回避対策、土壌分析を活用した施肥設計、ドローン防除体系について新技術導入・確立に向けた実証試験に要する経費を助成しました。 事業主体：JA鳥取中央 補助金額：事業費462,343円×2/3 事業内容：実証試験60a		308	県1/2、町1/6			
合計			12,529				
事業の主な実施状況	 <p>生産技術向上・規模拡大支援で導入した機械（スパイダーモア）</p>  <p>写真散布後の様子</p>  <p>写真ドローンによる航空散布の様子</p> <p>栽培技術確立支援によりドローン防除体系の確立に向け行った実証試験の様子（試験報告書抜粋）</p>						
事業目的の達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり			
	<p><b>【前年度の課題の概要】</b> 令和4年度から事業実施している琴浦ブロッコリーがんばる地域プランの実現に向けて、生産規模拡大など販売額の向上に取組みます。</p> <p><b>【前年度課題についての対応及び成果】</b> がんばる地域プランの計画を適切に実施し、栽培面積の拡大を図りました。</p> <p><b>【担当課による評価の理由】</b> 令和6年度についてはブロッコリーについて販売額5億5千万円を達成（前年度比5.6%増）、栽培面積213ha（前年度比1.9%増）となり、プランの取組による栽培面積、販売高の拡大が図られたことによりプラン達成に大きく寄与したと判断し、「A 相当程度進展あり」としました。</p>						
	<p>今後の取組みの方向 琴浦ブロッコリーがんばる地域プランの実現・達成及びすいか、ミニトマト、白ねぎなどの町の主要品目の目標達成に向けて、継続して生産規模拡大など販売額の向上に取組みます。</p>						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	801	事業名	有害鳥獣対策事業	会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課	担当係	農村水産振興係	□新規 ■継続			
予算区分	款 5 農林水産業費	項 1 農業費	目 3 農業振興費				
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり		① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成				
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広がる新たな魅力づくり					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	8,542	7,760	2,415	2,084	0	0	3,261
事業の目的 (なんのために)	イノシシ、シカ、ヌートリアなど町内に生息する有害鳥獣から農産物への被害を防ぎます。射撃練習や捕獲活動を助成することにより、有害鳥獣の捕獲に従事する者を支援します。						
細事業等	内容		決算額 (千円)	財源内訳			
ほうきのジビエ推進協議会負担金	協議会が開催するジビエの利活用やジビエの販路開拓と県内外でのPR活動、豚熱への対応研修等の活動に対する負担金を支出しました。 ・負担金50千円		50	単町			
鳥獣被害総合対策事業(県)有害鳥獣捕獲業務補助金	有害鳥獣による農作物等の被害を防ぐため、猟友会による銃を用いたカラス等の一斉捕獲活動を支援しました。 ・カラスの一斉捕獲(4回) 271千円		271	県60、町297			
消耗品費	捕獲確認用の消耗品を購入しました 1千円		1	単町			
鳥獣捕獲者確保環境整備事業(射撃環境改善事業補助金)	有害捕獲に従事する有資格者の技術の向上を図るため、射撃練習に要する費用の一部を補助しました。 ・訓練参加者11名 25千円		25	県1/2、町1/2			
鳥獣被害防止総合対策事業(国)緊急捕獲活動支援事業	個体数が増加しているイノシシ、ニホンジカの農作物等への被害を防ぐため、捕獲活動に対して報償金を交付しました。 ・イノシシ(通年)成獣:7,000円×288頭 幼獣:1,000円×105頭 2,121千円 ・ニホンジカ(通年)成獣:7,000円×42頭 幼獣:1,000円×0頭 294千円		2,415	国10/10			
鳥獣被害総合対策事業(県)侵入防止柵設置補助金	有害鳥獣による農作物等の被害を防ぐため、侵入防止柵の購入経費を補助しました。 ・電気柵 1,900m(個人2名、法人1名) 501千円 ・金網柵 360m(法人1名) 857千円 ・WM柵 1,100m(法人1名) 504千円		1,862	県1/2、町1/2			
鳥獣被害総合対策事業(県)捕獲奨励金	有害鳥獣による農作物等の被害を防ぐため、捕獲に対して奨励金を交付しました。 ・イノシシ(猟期外)成獣:5,000円×145頭 幼獣:11,000円×100頭 1,825千円 ・ニホンジカ(通年) 猟期外:15,000円×26頭 猟期:7,500円×16頭 510千円 ・ヌートリア(通年) 3,000円×135頭 405千円		2,740	県1,174、町1,828			
鳥獣被害対策実施隊活動費	イノシシによる農作物被害を防ぐため、夏から秋にかけて行う捕獲活動を支援しました。 ・捕獲活動 18名延べ198日 396千円		396	単町			
	合計		7,760				
事業の主な実施状況							
	●設置した侵入防止柵(電気柵)		●設置した侵入防止柵(金網柵)				
事業の主な実施状況							
	●捕獲した有害鳥獣(イノシシ)		●捕獲した有害鳥獣(ニホンジカ)				
事業目的の達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり				
	<b>【前年度の課題の概要】</b> 有害鳥獣による被害を効果的に防ぐため、今後は平野部においても侵入防止柵と合わせた罠の設置や、集落単位での対策を進める必要がある。						
	<b>【前年度課題についての対応及び成果】</b> 前年度に大きな被害のあった農地等へ速やかに侵入防止柵を設置したこと、猟友会による積極的な捕獲活動に前年より捕獲頭数が増えたことなどにより、農作物の被害額は大きく減少した。						
<b>【担当課による評価の理由】</b> 被害防止対策により被害額が減少したため。							
今後の取り組みの方向	農作物被害は減少傾向にあるものの、有害鳥獣の生息域が平野部へと広がってきており、引き続き大きな被害に繋がらないよう対策を進める必要がある。						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	899	事業名	果樹振興対策事業	会計区分	一般会計			
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		□新規 ■継続		
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費		
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生まれ出す地域経済好循環のまちづくり		① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成					
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広がる新たな魅力づくり						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
			令和6年度	46,068	37,472	0	32,880	0
令和6年度(明許)	15,011	8,744	0	8,744	0	0	0	
事業の目的 (なんのために)	梨等の果樹振興のため、ブランド化を目的とした鳥取県育成オリジナル新品種の早期導入とそれに伴う生産基盤の整備を図ります。併せて、導入後5年間の育成経費相当額を交付することにより、生産農家の意欲を高め、新品種の生産体制の整備を図ります。							
細事業等	内容			決算額 (千円)	財源内訳			
鳥取梨生産振興事業費補助金 【繰越】	「新甘泉」特別対策事業(補助金:8,744,250円) ・生産基盤対策(財源内訳:県3/4) 事業実施主体: J A 鳥取中央 事業費:11,659,000円 内容:防除用機械(S S)2台			8,744	県3/4			
果樹カメムシ類緊急防除支援事業費補助金	果樹カメムシ類緊急防除支援事業費補助金 補助率:10/10(県1/2、町1/2、事業費上限4,500円/10a) 梨:対象戸数52戸 実施面積3,435a 事業費1,736,362円 補助額1,016,122円 柿:家戸数5戸 実施面積78a 事業費39,281円 補助額23,400円			1,040	県1/2、町1/2			
柿ぶどう等生産振興事業補助金	①生食用ぶどう生産拡大(事業面積5.17a) 補助金:952,990円 育成促進対策: 苗木奨励金 94千円/10a×5.17a (県1/2、町1/2) 生産基盤整備対策: 灌水施設 228,113円×1/3(県) 果樹棚 300,396円×1/2(県) ハウス 1,356,315円×1/2(県)  ②醸造用ぶどう生産拡大(事業面積74.01a) 補助金:4,974,159円 育成促進対策: 苗木奨励金 94千円/10a×74.01a (県1/2、町1/2) 生産基盤整備対策: 新植苗木 1,535,744円×1/2(県) 灌水施設 1,916,440円×1/3(県) 果樹棚 5,743,560円×1/2(県)			5,927	育成促進:県1/2、町1/2 育成促進以外:県10/10			
梨柿等降雹被害緊急防除支援事業	梨柿等降雹被害緊急防除支援事業補助金 補助率2/3(県1/3、町1/3、事業費上限4,500円/10a) 対象戸数:118戸 実施面積:5871.2a 総事業費:3,221,160円 補助金:1,752,856円			1,753	県1/2、町1/2			
鳥取梨生産振興事業費補助金	①鳥取梨生産振興事業費補助金 補助金:17,252,918円 新甘泉特別対策 ・育成促進対策(取組農家:1戸) 事業費:386,400円 補助金:386,400円 新植・全面改植19.32a ・生産基盤対策(取組農家:4戸) 事業費:18,890,798円 補助金:11,265,655円 内容:新植・改植、全面改植、灌水設備、網掛施設、防除機械(S S) ジョイント栽培拡大事業 ・育苗支援対策(取組農家:4戸) 事業費:3,852,200円 補助金:2,568,130円 内容:大苗育苗委託 ・育成促進対策(取組農家:2戸) 事業費:319,400円 補助金:319,400円 新植・全面改植15.97a ・生産基盤対策(取組農家:2戸) 事業費:4,153,028円 補助金:2,047,297円 内容:全面改植、灌水設備、網掛施設 低コスト・体制強化事業(取組農家:2戸) 事業費:1,908,200円 補助金:636,066円 内容:乗用草刈機 新たな霜被害対策実証モデル事業(取組主体: J A 琴浦梨生産部) 事業費:59,940円 補助金:29,970円 内容:燃料資材の実証試験及び研修会 ②戦略的スーパー園芸団地整備事業費補助金 補助金:11,498,682円 ・育成促進対策(取組農家:1戸) 事業費:2,145,600円 補助金:2,145,600円 内容:新植35.76a ・生産基盤対策(取組農家:2戸) 事業費:12,470,777円 補助金:9,353,082円 内容:新植、灌水施設、果樹棚、網掛け施設			28,752	育成促進:県1/2、町1/2 育成促進以外:県10/10			
	合計			46,216				
事業の主な実施状況	<p>果樹棚・網かけ施設      ジョイント栽培拡大・かん水施設</p> <p>鳥取梨生産振興事業</p>							

	 <p style="text-align: center;">柿ぶどう等生産振興事業</p>		
<p style="text-align: center;">事業目的の達成状況</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">担当課による評価</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">A 相当程度進展あり</td> </tr> </table> <p><b>【前年度の課題の概要】</b> 果樹生産者の経営安定や産地の維持発展のために継続した支援を行うとともに、後継者の確保・育成のために必要な取組について、関係機関と連携し、引き続き検討していく必要があります。 ワイナリー事業に向けて、引き続き醸造用ぶどうの生産拡大を実施する必要があります。</p> <p><b>【前年度課題についての対応及び成果】</b> 梨生産：各生産者の経営規模に応じた振興対策を、JA及び琴浦梨生産部と連携のうえ、実施した。 ぶどう：醸造用ぶどうについては、ワイナリー事業者予定者のR7年度までの計画達成に向けて人材確保及び農地の確保を支援を行いました。 また、生食用ぶどうにおいて生産者の支援を行い、生産拡大支援を行いました。</p> <p><b>【担当課による評価の理由】</b> 県の鳥取梨生産振興事業や戦略的スーパー園芸団地整備事業を活用し、鳥取県育成オリジナル新品種の早期導入とそれに伴う生産基盤の整備ができた。 また、醸造用ぶどうについても目標面積には足りないものの概ね作付面積が達成できたことから、「A 相当程度進展あり」と評価しました。</p>	担当課による評価	A 相当程度進展あり
担当課による評価	A 相当程度進展あり		
<p style="text-align: center;">今後の取り組みの方向</p>	<p>町の主要品目である梨を含めた果樹生産者の経営安定や産地の維持発展のために継続した支援を行うとともに、後継者の確保・育成のために必要な取組について、関係機関と連携し、引き続き検討していく必要があります。 ワイナリー事業が本格的に着手されたことから、作付面積の目標達成に向けて醸造用ぶどうの生産拡大を実施する必要があります。</p>		

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1138	事業名	経営所得安定対策推進事業	会計区分	一般会計				
担当課	農林水産課	担当係	農林水産振興係	□新規 ■継続					
予算区分	款 5 農林水産業費	項 1 農業費	目 3 農業振興費						
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成					
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり							
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳						
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源		
令和6年度	6,303	4,090	0	4,048	42	0	0		
事業の目的 (なんのために)	農業再生協議会が農業生産への意欲向上や米の生産調整等を目指し、経営所得安定対策等事業交付金の事務を行います。これに対する補助を行うことにより、地域農業の振興と活性化を図ります。								
細事業等	内容			決算額 (千円)	財源内訳				
琴浦町農業再生協議会事務経費	農業再生協議会事務に係る経費の一部を支払いました。			42	再生協事務費負担金 42				
経営所得安定対策等推進事業費補助金	経営所得安定対策等推進事業費補助金として、県、町を経由して交付される国庫補助金を農業再生協議会へ交付しました。			4,048	県10/10				
	合計			4,090					
事業の主な実施状況									
事業目的の達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり						
	<p><b>【前年度の課題の概要】</b> 令和6年度は水田収益力強化ビジョンの初年度(R6~R8)となることから、適切な目標設定を行い達成に向けて取組みを進めます。 一方で、畑作物への転換が図られた水田のうち、令和8年度までに水張りを行わない水田は令和9年度以降水田活用の直接支払交付金の対象水田とならないことから、耕作者に情報提供を行い、水稲作付計画のないほ場については、畑地化を進めます。 また、事業推進団体である琴浦町農業再生協議会については、経営所得安定対策交付金の他にも各事業の取りまとめなど求められる役割が増えており、推進費用の増額など機能強化を図るための支援が必要です。</p>								
	<p><b>【前年度課題についての対応及び成果】</b> 令和6年度に計画した水田を活用して収益力強化を目指す「水田収益力強化ビジョン」に基づき218名に対して総額59,946千円が産地交付金として交付されました。 (交付金は町の予算を経由せず国から直接農業者へ交付) 畑地化促進事業を活用し、74名、424ほ場が畑地化認定され、水田の畑作物の本作化を推進しました。 農業再生協議会として求められる役割が増加するなか、機能強化が必要であり、推進費の増額など国や県に求めているところですが、拡充には至っておらず引き続き要望を行ってまいります。</p>								
今後の取り組みの方向	<p><b>【担当課による評価の理由】</b> 水稲作付面積は減ったものの、WCS用稲等転作により概ね昨年並みの水田活用が図られました。 (昨年比96.5%) 円滑な事業推進により、適切に産地交付金の交付ができたことから、A評価としました。</p>								
	<p>令和7年度は水田収益力強化ビジョンの中間年度(R6~R8)となることから、R8の目標達成に向けて取組みを進めます。 一方で、令和9年度以降、水田活用の直接支払い交付金を抜本的に見直す方針が農林水産省から提示されているため、今後の動向を注視し、生産者へ情報提供を行います。 また、事業推進団体である琴浦町農業再生協議会については、経営所得安定対策交付金の他にも各事業の取りまとめなど求められる役割が増えており、推進費用の増額など機能強化を図るための支援が必要です。</p>								

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1139	事業名	農業後継者育成対策事業	会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課	担当係	農林水産振興係	□新規 ■継続			
予算区分	款 5 農林水産業費	項 1 農業費	目 3 農業振興費				
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり		① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成				
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広がる新たな魅力づくり					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	39,960	33,044	0	27,895	2,000	0	3,149
事業の目的 (なんのために)	新規就農者の就農初期の営農経費負担軽減を図り、就農定着を支援する。						
細事業等	内容		決算額 (千円)	財源内訳			
農業青年会議活動助成事業補助金	遊休農地への景観形成作物による地域活性化取組活動を支援しました。 活動費補助金 100千円		100	町 78、市町村創生交付金 22			
親元就農促進支援交付金	農業経営の継続的発展を図り、将来、地域農業の担い手として定着することを目的とし、親元就農の促進を支援しました。 継続 100千円×12か月×4名 新規 100千円×9か月×1名		5,700	県2/3、町1/3			
就農応援交付金	新規就農者の経営開始時の負担を軽減するため、初期運転資金等を支援しました。 100千円×11か月 1名 100千円×9か月 1名 100千円×3か月 2名		2,600	県2/3、町1/3			
就農条件整備事業費補助金	新規就農者の就農初期の経営基盤整備の負担軽減を図りました。 【取組者5名】 倉庫ハウス・フロートキャスター・運搬車他		6,207	県2/3、町69、ふるさと未来夢基金 2,000			
経営開始資金・次世代人材投資資金	国事業を活用して新規就農者の就農初期の経営安定化を支援しました。 ①経営開始資金 経営開始する新規就農者支援（最長3年） 750千円×2人 1500千円×1人 ②次世代人材投資資金 次世代を担う農業者を目指す経営開始直後の新規就農者支援（最長5年 ※～R3年度採択分まで） 866千円×1人 1200千円×2人 1350千円×2人 1500千円×1人		10,466	国10/10			
経営発展支援事業補助金 【新規】	機械・施設の導入など経営発展を行う認定新規就農者に対する支援を行いました。 ハウス設置 10,000千円×3/4		7,500	国2/3、県1/3			
産地主体型就農支援モデル確立事業費補助金 【改善】	産地が主体的に後継者確保・育成する仕組みとして、新規就農希望者を支援する体制づくりをモデル的に支援しました。 産地受入協議会事業 P R 資料作成、産地体験開催経費 200千円×3生産部（ミニトマト、梨、プロッコリー生産部）		471	県1/2、町1/2			
合計			33,044				
事業の主な実施状況	担当課による評価 A 相当程度進展あり						
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 就農を目指す者が適した補助事業を活用できるよう関係機関との連携強化が必要。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 県農業改良普及所やJA生産部と連携し、就農希望者の募集等を行った。</p> <p>【担当課による評価の理由】 生産部との連携を強め、募集から研修、就農までの流れを整理し、共有することでスムーズな就農につなげられた。</p>						
今後の取り組みの方向	今後も関係機関と連携し、新規就農者の増に努める。						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1237	事業名	農地中間管理事業	会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課	担当係	農林水産振興係	□新規 ■継続			
予算区分	款 5 農林水産業費	項 1 農業費	目 3 農業振興費				
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成			
	重点事業 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	6,040	5,770	0	2,861	48	0	2,861
事業の目的 (なんのために)	担い手農家への農地集積による農地の有効利用と遊休農地化の防止を目指す。また、土地改良事業や人・農地プランなどを検討し、今後の地域農業に関する話し合いを行う。						
細事業等	内容			決算額 (千円)	財源内訳		
農地中間管理事業業務委託事業	農地中間管理機構から農地中間管理事業等に関する業務の委託を受け、農地の貸借、調整などの事務を行いました。 通信運搬費 20千円 需用費(消耗品費) 28千円			48	その他48		
機構中間保有地再生活用事業	担い手の農地集積を推進するため、荒廃農地を農地中間管理機構が行う再生事業に対して補助を行い再生を行いました。 再生後は近隣で耕作する担い手が当該農地を借受けて耕作します。 ○令和6年度実績(再生総面積:212.4a、総事業費:5,722,200円) 大成地区(再生面積:70.2a、事業費:1,999,800円) 笠見地区(再生面積:61.0a、事業費:1,974,500円) 金屋地区(再生面積:81.2a、事業費:1,747,900円)			5,722	県1/2、町1/2		
合計				5,770			
事業の主な実施状況	【機構中間保有地再生活用事業】						
			→			<p>再生前</p> <p>再生後</p>	
	大成地区						
			→			<p>再生前</p> <p>再生後</p>	
	笠見地区						

	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p style="text-align: center;">再生前 <span style="margin-left: 200px;">再生後</span></p> <p style="text-align: center;">金屋地区</p>	
	担当課による評価	A 相当程度進展あり
事業目的の達成状況	<p><b>【前年度の課題の概要】</b> 引き続き、荒廃農地の再生による担い手への農地の集積を図るとともに集約化を図るため、地域計画の策定の推進を農業委員と連携して取組みを進め、円滑な事業実施が図れるよう取組みを進めます。</p> <p><b>【前年度課題についての対応及び成果】</b> 担い手への農地の集積を図るため地区公民館9地区単位で話し合いを進め、地域計画の策定を行いました。 また、人・農地プランに基づき、町内荒廃農地2.1haの再生を行いました。</p> <p><b>【担当課による評価の理由】</b> 農業経営基盤強化促進法第19条に規定する地域計画を期限となる令和7年3月末までに策定できたこと及びプランに基づき荒廃農地の再生を計画通り進められたことから「A 相当程度進展あり」としました。</p>	
今後の取り組みの方向	<p>地域計画の実効ある取り組みを行うため、引き続き地域の話し合いを実施し見直す必要があります。 担い手への農地の集積を進めるとともに荒廃農地の再生による解消に引き続き取り組む必要があります。</p>	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1412	事業名	農業研修事業		会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		□新規 ■継続		
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費		
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成			
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	6,013	3,744	0	0	797	0	2,947	
事業の目的 (なんのために)	地域おこし協力隊制度を活用し、都市部から就農希望する方に農業研修を実施し、移住定住の促進及び新規就農者の確保を図ります。							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳	
農業研修に要する経費【就農研修型】	地域おこし協力隊制度を利用し、町内での就農を目指して研修を行う者に対して支援しました。 ・研修生受入に伴う指導農家報償金 840千円 (40千円/月) ・研修に要する消耗品費 181千円 ・研修生公用車リース料・保険料等 723千円 ・研修生宿泊施設の家賃光熱水費等経費 511千円 ・研修生宿泊施設の維持管理費等 438千円					3,023	単町 (一部施設使用料を充当)	
農業体験ツアー実施に要する経費	農業研修生募集に関連して、琴浦町での就農を具体的にイメージできるよう、農業体験や現地相談会を行いました。 ・農業移住体験ツアー (1泊2日×1回：ミニトマト) ・農業実践体験ツアー (2泊3日×1回：プロッコリー) 報償費 14千円 (受入農家) 覆い借上、保険料等 29千円 補助金 59千円 (参加者交通費助成)					102	単町	
研修生募集に要する経費	新規就農者を確保するため、県外での就農相談会、移住定住相談会へ参加しました。 R 6年度実績：県外就農相談会 (大阪府 3回、延べ 4生産部) 県内就農相談会 (倉吉市 1回、3生産部) ・農業研修生等募集イベントへの出展に要する職員等旅費147千円 ・出展に係る消耗品費等経費 32千円 ・ブース使用料、webページによる求人募集 440千円					619	単町	
	合計					3,744		
事業の主な実施状況								
事業目的の達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり				
	<p><b>【前年度の課題の概要】</b>                  研修生の受け入れが可能な品目の拡充が必要。                  これまでの実績：ミニトマト (独立2人・研修中1人)、梨 (独立1人)</p> <p><b>【前年度課題についての対応及び成果】</b>                  令和6年12月に町内生産部、県等が参集し、担い手育成や農業研修生の受け入れに関する意見交換会を開催しました。                  令和7年度は県内外の就農相談会への参加、産地体験会・農業体験ツアーを企画する生産部が増えました。</p> <p><b>【担当課による評価の理由】</b>                  担い手確保、育成は産地 (生産者等) が主体的に動く必要があり、生産部がスムーズに担い手確保活動が行えるよう、情報提供や体験会参加などの支援をしました。</p>							
今後の取り組みの方向	今後も生産部をはじめとした関係機関と連携し、担い手確保・育成に取り組んでいきます。							

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1443	事業名	スマート農業推進事業	会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課	担当係	農林水産振興係	□新規 ■継続			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成			
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	2,570	1,050	0	0	1,000	0	50
事業の目的 (なんのために)	IoTやAIなどの農業新技術を導入し、新規就農者や研修生等の技術習得支援に活用することで、新規就農者等の技術習得支援及び町内生産者の栽培管理技術向上を図ります。						
細事業等	内容			決算額 (千円)	財源内訳		
スマート農業社会実装促進事業補助金	スマート農業の社会実装を促進するために、スマート農機等の導入経費の支援を行う。 (事業実績なし)			0			
町スマート農業推進協議会運営費補助金	スマート農業推進対策として、以下の補助金を交付しました。  琴浦町スマート農業推進協議会運営費補助金(補助率:10/10(町10/10)) ・環境モニタリングによる生育調査 ハウス内の環境モニタリング(気温、湿度、土壌水分、CO2など)を行い、生育状況調査や病害虫発生状況の確認などを実施した。 ・アシストスーツの導入及び実証 重量物の持ち上げなどの農作業の負担軽減が期待できる製品の導入を行い、アシストスーツ着用の有無による身体負担と作業効率を調査した。 ・スマート農業研修ハウスの運営 ICTを活用したスマート農業設備を導入し、生産性や収益性を高める栽培管理方法を学ぶ研修施設の運営。			1,050	過疎対策事業債1,000、町50		
合計				1,050			
事業の主な実施状況							
事業目的の達成状況	担当課による評価			B 進展が大きくない			
	<p><b>【前年度の課題の概要】</b> 琴浦町スマート農業推進協議会において、ミニトマトの栽培管理研修を行い、担い手の確保や収量の増加を図ります。スマート農業機械の社会実装を促進するため、各生産部において実演会など導入検討を行います。</p> <p><b>【前年度課題についての対応及び成果】</b> 琴浦町スマート農業推進協議会において、ミニトマトの栽培管理研修を行い、栽培管理技術の習得を図りました。スマート農業機械の各生産部においての実演会は実施できませんでした。</p> <p><b>【担当課による評価の理由】</b> 令和6年度はスマート農業補助金を活用した各生産部への導入促進ができなかったため B 進展が大きくないと評価しました。</p>						
今後の取り組みの方向	琴浦町スマート農業推進協議会において、ICTを活用したミニトマトの栽培管理データを活用し、担い手の確保や収量の増加を図ります。スマート農業機械の社会実装を促進するため、各生産部において実演会など導入検討を行います。						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	175	事業名	畜産振興対策事業	会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課	担当係	農林水産振興係	□新規 ■継続			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 畜産業費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成			
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広がる新たな魅力づくり					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	20,979	13,681	0	1,651	3,900	0	8,130
事業の目的 (なんのために)	個体の品質向上や増産等に向け、畜産農家に各種補助金および奨励金等を交付し、畜産振興を推進します。						
細事業等	内容			決算額 (千円)	財源内訳		
鳥取県畜産推進機構負担金	鳥取県畜産推進機構への負担金 ・ 99,700円			98	単町		
琴浦町肉豚経営特別対策事業	肉豚の枝肉価格が低迷した場合に交付される肉豚経営安定対策事業の生産者積立金の負担を軽減し、養豚農家の経営安定維持を図りました。 ・ 補助率1/6 ・ JA鳥取中央：400円×1/6×916頭			60	単町		
町優良種牝牛造成奨励事業	優良牝子牛の導入・保留を行い、生産基盤の安定と畜産振興を図りました。 ・ 町内繁殖農家：150千円/頭×1頭			150	単町		
琴浦町和牛品評会出品奨励事業	和牛品評会出品にかかる経費を助成することにより、出品農家の負担軽減と畜産振興、改良促進を図りました。 ・ JA鳥取中央和牛生産部：3千円/頭×18頭			54	単町		
琴浦町酪農生産基盤拡大強化事業	本町の若手酪農家の人材育成やスキルアップのため、先進地視察など研修にかかる費用を助成し、生産基盤の拡大及び強化への支援をしました。 ・ 補助率：1/2 ・ 琴浦町酪農組合先進地視察 301,280円			151	町117、市町村創生交付金34		
琴浦町肉用牛肥育経営安定特別対策事業	牛肉の枝肉価格が低迷した場合に交付される肉用牛肥育経営安定対策事業の生産者積立金の負担を軽減し、肥育農家の経営安定維持を図りました。 補助率：1/6 ・ 肉専用種：10,000円×1/6×1,203頭 ・ 交雑種：13,000円×1/6×8頭 ・ 乳用種：10,000円×1/6×368頭			2,635	単町		
自給飼料生産確保対策事業	飼料価格高騰等の影響を受けにくい生産体制の強化を図り、酪農家の負担軽減・経営維持のため、自給飼料生産に必要な機材について支援しました。 町補助率1/6 ・ TMRミキサー 13,600千円×1/6 ・ ホイールローダー 9,340千円×1/6 【平行補助】鳥取県自給飼料生産確保対策事業（補助率1/3）			3,823	単23、ふるさと未来夢基金3,800		
琴浦町乳用牛品評会出品奨励事業	乳用牛品評会出品にかかる経費を助成することにより、出品農家の負担軽減と畜産振興、改良促進を図りました。 補助額 3千円/頭 ・ 琴浦町酪農組合：3千円×38頭			114	単町		
琴浦町酪農振興関係事業（担い手施設整備事業のうち生産性向上支援事業）	生産性向上に必要な設備等を酪農の担い手に貸し付けるため、大山乳業農協が取得する費用の一部を助成しました。 補助率1/6（参考：県直接補助1/3） 事業費9,660千円×1/6（二重屋根）			1,610	単町、企業版ふるさと納税100千円		
琴浦町和牛振興計画推進事業費補助金	和牛の担い手等が導入計画に基づき繁殖牛を増頭する際の購入経費を支援しました。 補助率：1/2 JA鳥取中央(8頭)：4,851千円×1/2 【歳入】鳥取和牛振興対策事業費補助金 1,617千円			2,426	県2/3、町1/3		
和子牛緊急支援事業 【新規】	和子牛価格が急落していることを受け、購買者が求める発育・肉質の良い和子牛生産への取組を支援しました。 鳥取中央農協：256頭×10,000円			2,560	単町		
合計				13,681			
事業の主な実施状況							
事業目的の達成状況	担当課による評価			B 進捗が大きい			
	<p>【前年度の課題の概要】 生産者が減少、高齢化している中で、現頭数の維持・拡大に向けた生産基盤の強化や経営の安定を図る必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 規模拡大や増頭の意欲のある生産者や若手、後継者に対する施設整備や増頭にかかる経費を一部助成し、生産者の負担軽減や町内飼養頭数の維持・増頭を図りました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 酪農家が減る中ですが、大規模経営を行う酪農家も出てきたことで、生産量の確保につながったものの、成果はまだ不十分であることから、B 進捗が大きいと評価しました。</p>						
	今後の取り組みの方向 生産者が減少、高齢化している中で、現頭数の維持・拡大に向けた生産基盤の強化や経営の安定を図る必要があります。						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	178	事業名	一般事務	会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課	担当係	農村整備係	□新規 ■継続			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生まれ出す地域経済好循環のまちづくり			③ 農地・農業用施設の保全活動の推進			
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広がる新たな魅力づくり					
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	860	545	0	0	0	0	545
事業の目的 (なんのために)	土地改良事業の実施及び施設の適正な維持管理に必要な体制を整えます。 国や関係機関に対する情報収集、国等へ協議会等より陳情・要望を行い事業実施の実現に寄与します。						
細事業等	内容			決算額 (千円)	財源内訳		
中部土地改良事業推進協議会負担金	土地改良事業を実施、推進するため本協議会に対し、負担金を支払いました。			16	単町		
消耗品費	技術図書を購入しました。			30	単町		
手数料	各種システムの手数料を支払いました。 WEB建設物価標準版 52,800円、既存CAD分 66,000円、水土里情報システム利用料 8,800円			128	単町		
農道台帳管理負担金	農道台帳管理に要する経費を負担しました。			135	単町		
農業農村整備事業推進協議会負担金	農業農村整備事業を実施、推進するため本協議会に対し、負担金を支払いました。			24	単町		
県土地改良事業団体連合会負担金	土地改良事業を適切かつ効率的に行うこと等を目的として、市町村、土地改良区等(会員)が設立した協同組織である県土地改良事業団体連合会に対し、負担金を支払いました。(一般賦課金 25千円)			25	単町		
県土地改良事業団体連合会負担金	土地改良事業を適切かつ効率的に行うこと等を目的として、市町村、土地改良区等(会員)が設立した共同組織である県土地改良事業団体連合会に対し、負担金を支払いました。(特別賦課金 187,000円)			187	単町		
合計				545			
事業の主な 実施状況	土地改良事業の実施及び施設の適正な維持管理をするために、負担金や手数料、消耗品など以下の経費を支払いました。						
	細事業等	内容	金額(円)	財源内訳	備考		
	農道台帳管理負担金	農道台帳管理に要する経費を負担しました。	135,000	単町			
	県土地改良事業団体連合会負担金	土地改良事業を適切かつ効率的に行うこと等を目的として、市町村、土地改良区等(会員)が設立した協同組織である 県土地改良事業団体連合会に対し、負担金を支払いました。  一般賦課金 25,000円 特別賦課金 187,000円	212,000	単町			
	農業農村整備事業推進協議会負担金	農業農村整備事業を実施、推進するため本協議会に対し、負担金を支払いました。	24,000	単町			
	中部土地改良事業推進協議会負担金	土地改良事業を実施、推進するため本協議会に対し、負担金を支払いました。	16,000	単町			
	その他事務費等	消耗品費 30,470円 CAD保守手数料 66,000円 Web建設物価標準版 52,800円 水土里情報システム手数料8,800円	158,070	単町			
	合計		545,070				
事業目的の 達成状況	担当課による評価						
	【前年度の課題の概要】 事務事業のため前年度の評価なし						
	【前年度課題についての対応及び成果】 事務事業のため前年度の評価なし						
今後の取り組みの方向	【担当課による評価の理由】 事務事業のため前年度の評価なし						
	土地改良事業の実施及び施設の適正な維持管理に必要な体制を継続して整えます。 国や関係機関に対する情報収集、国等へ協議会等より陳情・要望を行い事業実施の実現に寄与します。						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	180	事業名	しっかり守る農林基盤整備事業		会計区分	一般会計	
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		□新規 ■継続	
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			③ 農地・農業用施設の保全活動の推進			
	重点事業						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	13,867	12,646	0	6,049	628	0	5,969
事業の目的 (なんのために)	圃場整備から約30年経過し、施設も耐用年数を迎え、老朽化が著しい状況となっています。農林業を営むうえで必要となる農林基盤の改修・補修等を行い、農林業の振興を図ります。特に水路については、降雨時には防災・減災を図る上で欠かせない社会生活基盤となっています。						
細事業等	内容				決算額 (千円)	財源内訳	
農業用施設改修工事	老朽化した水路の修繕及び、林道法面の修繕を行いました。 伊勢野地区水路改修工事、光地区水路改修工事、太一垣地区水路改修工事、林道本谷線道路修繕工事				6,897	農道：県40%、町40%、地元20% 水路：県50%、町35%、地元15%	
琴浦町営農林業基盤整備事業原材料等助成	受益者自ら補修等を行うために必要となる重機の借り上げ料を助成しました。				1,125	県500、町1,000	
しっかり守る農林基盤補助金	地元集落や担い手農家が実施する工事に対して補助を行いました。 東伯町土地改良区 2件（下伊勢地区水路、杉地区樋門）				2,848	水路：県50%、町35%、地元15%	
琴浦町営農林業基盤整備事業原材料等助成	受益者自ら補修等を行うために必要となるコンクリート等の原材料費を助成しました。				1,776	県500、町1,000	
合計					12,646		
事業の主な実施状況	○農林基盤の改修・補修等について以下の事業を実施しました。						
	項目	金額（千円）	対象件数	備考			
	工事請負費	6,897	工事 9件				
	補助金	2,849	補助金 3件	現年			
	原材料費等助成	2,901	原材料等 18件				
	・光地区農道修繕工事 道路法面を修繕しました。						
	 <p>【施工前】</p>  <p>【施工後】</p>						
事業目的の達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり			
	<b>【前年度の課題の概要】</b> 水田地帯において、基盤整備を行ってから30～40年が経過しており、農業用施設等の老朽化が営農に支障をきたしているため、引き続き国の補助事業等での実施を検討する必要があります。						
	<b>【前年度課題についての対応及び成果】</b> 国庫補助事業での実施を検討しましたが、事業規模等の実施要件の対象とならない農業用水路及び農道等の簡易な維持修繕を行いました。町内農業農村生産基盤等の整備を行い、本町の農業振興及び強い農村づくりに貢献しました。						
今後の取り組みの方向	<b>【担当課による評価の理由】</b> 地元要望等で修繕、改良が必要な箇所を優先順位をつけ、工事を実施することができたためA判定としました。						
	基盤整備を行ってから30～40年が経過しており、今後も農業用施設等の老朽化が進行していきます。よって、本事業を活用し計画的に農業用施設の維持を図る必要があります。また、突発的、散発的な維持修繕については、中山間地域等直接支払や多面的機能支払の活用を推進し、地域で対応していただく体制を維持、構築していく必要があります。						

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	184	事業名	土地改良事業の推進		会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課	担当係	農村整備係			□新規 ■継続		
予算区分	款 5 農林水産業費	項	1 農業費		目	5 農地費		
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり		③ 農地・農業用施設の保全活動の推進					
	重点事業							
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	91,835	85,322	0	30,400	11,693	7,500	35,729	
令和6年度(明許)	3,122	3,121	0	0	624	2,200	297	
事業の目的(なんのために)	東伯町土地改良区、赤碓町土地改良区及び東伯地区土地改良区連合に対して、土地改良施設の維持・管理を行うための運営費助成を行います。							
細事業等	内容		決算額(千円)	財源内訳				
県営基幹水利施設更新事業(機械設備)負担金	経年劣化したダムの機械施設の更新工事(県営)に対して、負担を行いました。		8,321	一般補助施設整備等事業債 6,600、地元954、町767				
その他事務費等	受託管理者会議出席のため、旅費を支出しました。		14	単町				
土地改良区運営補助金	東伯町土地改良区、赤碓町土地改良区の運営に係る経費に対して、補助金を交付しました。		22,562	単町				
東伯地区土地改良区連合運営補助金	国営造成施設の維持管理を行っている東伯地区土地改良区連合の運営に係る経費に対して、補助金を交付しました。		5,603	船上山発電所管理特別会計繰入				
基幹水利施設管理事業	ダム、畑かん等の国営造成施設について、操作委託等を行いました。委託先：東伯地区土地改良区連合等		45,600	国1/3、県1/3、北宋5,745、町9,455				
ダム施設機器更新事業負担金	経年劣化したダム施設機器の更新に係る経費に対して、負担を行いました。事業実施主体：東伯地区土地改良区連合		3,549	一般補助施設整備等事業債 3,100、町449				
東伯地区改良区連合賦課金補助金	東伯地区農業水利事業に係る受益者賦課金に対して、補助金を交付しました。事業主体：土地改良区		2,794	単町				
	合計		88,443					
事業の主な実施状況	①土地改良施設の適切な維持管理を行うため、下記業務について委託等を行いました。							
	内容		金額(円)	備考				
	基幹水利施設管理委託業務		43,359,000	国1/3、県1/3、町1/3(うち北宋町37.8%、琴浦町62.2%)				
	ダム施設電気保安委託業務		556,116					
ダム関連施設機能監視・保安委託業務		910,800						
浄化槽維持管理委託業務		105,600						
ダム施設の回線使用料等		668,554						
②県が行う国営造成ダム施設の水管理施設更新について、負担をしました。								
内容		金額(円)	備考					
県営基幹水利施設更新事業負担金(繰越)		3,122,078	県事業繰越分					
県営基幹水利施設更新事業負担金		5,199,253	6,217,237円をR7へ繰越					
③土地改良区、土地改良区連合の適正な運営のため補助金を交付しました。								
補助金の名称		交付先	金額(円)					
琴浦町土地改良区運営補助金		赤碓町土地改良区	22,562,318					
		東伯町土地改良区						
琴浦町東伯地区土地改良区連合賦課金補助金		赤碓町土地改良区	2,794,320					
		東伯町土地改良区						
東伯地区土地改良区連合運営補助金		東伯地区土地改良区連合	5,603,334					
担当課による評価			A 相当程度進展あり					
事業目的の達成状況	【前年度の課題の概要】 将来的に持続可能な運営体制の確立が求められます。また、今後到来するダム施設の更新について県等関係組織と連携して予算措置を行う必要があります。							
	【前年度課題についての対応及び成果】 農業者により組織する各土地改良区において、農業基盤の維持管理及び県営土地改良事業の推進を行いました。また、国営造成施設を適切に維持・管理し、農業生産基盤の核である水資源を有効に活用しました。							
	【担当課による評価の理由】 国営造成施設を適正に維持・管理したものと判断し、A 相当程度進展ありと評価しました。							
今後の取り組みの方向 国営造成施設を適正に管理することで、受益地に農業用水を安定的に供給して農業生産性の向上を図るとともに、併せてダム下流における洪水被害や土砂流出防止、河川流況の安定化により、環境や国土の保全を図っていきます。								

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	185	事業名	国営かんがい排水事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		□新規 ■継続			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地費			
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			③ 農地・農業用施設の保全活動の推進					
	重点事業								
年度	最終予算額	決算額		事業費財源内訳					
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源			
令和6年度	17,463	0	13,050	1,644	0	2,737			
事業の目的 (なんのために)	国営・県営の水利施設の多面的機能発揮のため支援強化に関する経費の助成を行います。								
細事業等	内容				決算額 (千円)	財源内訳			
国営造成施設管理体制整備補助金等	国営・県営水利施設の調整水槽やパイプライン等の維持管理経費、多面的機能（消防水利等）の推進活動費等の助成を行いました。 事業主体：東伯地区土地改良区連合				17,400	国1/2、県1/4、北栄1,644、町2,706			
その他事務費等	国営造成施設管理体制推進活動に対して、負担を行いました。				31	単町			
	合計				17,431				
事業の主な実施状況	①ダム等国営造成施設の操作を委託している東伯地区土地改良区連合へ、水利施設の多面的機能発揮に貢献している部分及び通常の管理を上回る部分に係る経費に対して補助しました。（強化支援事業 国50%、県25%）								
	補助金、交付金の名称		事業費（千円）	備考					
	琴浦町国営造成施設管理体制整備促進事業補助金		17,400	強化支援事業					
	②ダム施設の見学（小学生）								
									
事業目的の達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
	<b>【前年度の課題の概要】</b> 土地改良施設の多面的機能の発揮に向けた地域への普及啓発活動を行っていきます。 <b>【前年度課題についての対応及び成果】</b> 小学生や大学生を対象として、ダム施設の見学を実施しました。 <b>【担当課による評価の理由】</b> 土地改良施設を地域が適切・有効に活用できるような管理体制づくりが推進できているものと判断し、A 相当程度進展ありと評価しました。								
今後の取り組みの方向	土地改良施設の適切な管理方法について検討するとともに、多面的機能の発揮に向けた検討を行い、地域が該当施設を適切・有効に活用できるような管理体制づくりを推進していきます。 また、土地改良施設の多面的機能の発揮に向けた地域への普及啓発活動を行っていきます。								

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1298	事業名	ため池防災減災対策推進事業	会計区分	一般会計														
担当課	農林水産課	担当係	農村整備係	□新規 ■継続															
予算区分	款 5 農林水産業費	項 1 農業費	目 5 農地費																
まちづくりビジョン	(5) 安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			① 自助・共助・公助による災害に強いまちづくり															
		重点事業																	
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳																
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源												
令和6年度	21,780	93	0	0	0	0	93												
令和6年度(明許)	17,620	6,783	0	0	0	6,100	683												
事業の目的 (なんのために)	農村地域の防災力向上を図るため、ため池の防災・減災対策を行い、農林業の振興に資するとともに、ため池の有する社会生活基盤としての機能の確保を図り、住民の安心と安全に寄与することを目的としています。																		
細事業等	内容			決算額 (千円)	財源内訳														
県営ため池工事に係る町負担金	松谷第3ため池改修(県営)に伴い市町村負担金を支払いました。 国:55% 県:34% 町:11% R7年度事業費 108,000,000円 負担金 11,880,000円 令和7年度への繰越額 21,687,000円			93	単町														
県営ため池工事に係る町負担金 (R6繰越分)	松谷第3ため池改修(県営)に伴い市町村負担金を支払いました。 負担率 国55% 県34% 町11% R6年度繰越分 事業費 61,667,673円 うち町負担 6,783,444円			6,783	町債6,100千円、町683千円														
合計				6,876															
事業の主な 実施状況	<p>○県が行う松谷第3ため池改修工事の事業費の一部を負担しました。</p> <p>負担金、補助及び交付金(負担割合:国55%、県34%、町11%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>負担金の名称</th> <th>事業費 (千円)</th> <th>町負担額 (千円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県営地域ため池総合整備事業(松谷第3地区)負担金</td> <td>198,000</td> <td>92</td> <td>現年</td> </tr> <tr> <td>県営地域ため池総合整備事業(松谷第3地区)負担金</td> <td>61,668</td> <td>6,784</td> <td>繰越</td> </tr> </tbody> </table> <p>○令和7年度への繰越額 21,687千円</p> 							負担金の名称	事業費 (千円)	町負担額 (千円)	備考	県営地域ため池総合整備事業(松谷第3地区)負担金	198,000	92	現年	県営地域ため池総合整備事業(松谷第3地区)負担金	61,668	6,784	繰越
	負担金の名称	事業費 (千円)	町負担額 (千円)	備考															
県営地域ため池総合整備事業(松谷第3地区)負担金	198,000	92	現年																
県営地域ため池総合整備事業(松谷第3地区)負担金	61,668	6,784	繰越																
<p>○県がため池監視システムを設置し、施設の譲与を受け運用を開始します。</p> <p>設置箇所: 7箇所(防災重点農業ため池)</p> 																			
事業目的の 達成状況	担当課による評価			B 進捗が大きい															
	<p><b>【前年度の課題の概要】</b>  <b>【松谷第3地区改修事業】</b>                      工事完了が遅延されたことと、設計変更による事業費の増額が生じたため事業の変更計画申請を行いました。県が5回におよび工事発注を行いました。災害復旧工事や大規模道路工事等により建設業者の技術者が不足していることから発注が応札なく取りやめとなりました。</p> <p><b>【ため監視システム】</b>                      監視システム設置に時間を要し、運用開始は令和7年度からとなりました。</p> <p><b>【前年度課題についての対応及び成果】</b>  <b>【松谷第3地区改修事業】</b>                      事業計画変更に伴う事務補助を行いました。再度発注のため予算調整を行いました。</p> <p><b>【ため監視システム】</b>                      設置箇所や時期の地元調整を行いました。</p> <p><b>【担当課による評価の理由】</b>                      予算調整後請負業者が決定したものの、現年執行分の工事実施がなかったのでBと判断しました。</p>																		

今後の取り組みの方向

松谷第3ため池改修事業の令和8年度完了に向けて県、地元との調整を図ります。  
ため池監視システムについて適切な管理を実施します。

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1413	事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業		会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課	担当係	農村整備係		□新規 ■継続			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地費		
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				③ 農地・農業用施設の保全活動の推進			
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	7,359	5,944	0	5,784	0	150	10	
令和6年度(明許)	4,736	4,736	0	0	0	4,600	136	
事業の目的 (なんのために)	担い手への集積を進めるにあたり、基盤整備が十分でない農地は借り受けが進んでいません。このため、農家負担なく基盤整備事業を実施できる本事業を活用することで、担い手への集積を加速化させます。							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳	
報償金	農地中間管理機構関連農地整備事業 換地委員 報償費					32	県10/10	
消耗品費	消耗品費					11	単町	
委託料	令和6年度森蔭地区県営土地改良事業換地計画関係業務					5,751	県10/10	
負担金(現年度)	農地中間管理機構関連農地整備事業負担金(現年)					150	町債	
負担金(繰越明許)	農地中間管理機構関連農地整備事業負担金(明許)					1,036	町債1,000、単町36	
負担金(繰越明許)	農地中間管理機構関連農地整備事業負担金(国補正、明許)					3,700	町債3,600、単町100	
合計						10,680		
事業の主な 実施状況	農地中間管理機構関連農地整備事業の実施に向けて換地業務の契約、地元換地委員との協議を行いました。							
	項目	内容	事業費	備考				
	報償費	農地中間管理機構関連農地整備事業 換地委員 報償費	32,000円	換地委員：3名				
	需用費	消耗品の購入	11,272円	事務用品				
	委託料	森蔭地区(平和工区)の確定測量業務及び換地処分を委託する。 委託契約期間を延長し換地処分をR7年度に完了予定 265千円をR7年度へ繰越	5,750,800円	事業量：A=4.9ha				
	公有財産購入費	換地処分後に創設換地分の土地を購入するため R7年度へ全額繰越 150千円						
	負担金(現年度)	県営農地集積加速化農地整備事業負担金(現年) 舗装工事分651千円をR7年度へ繰越	149,988円	現年				
	”(繰越明許)	県営農地集積加速化農地整備事業負担金(明許)	4,735,507円	明許				
担当課による評価			A 相当程度進展あり					
事業目的の 達成状況	【前年度の課題の概要】 森蔭工区の早期完了と平和工区の設計修正、それに係る地元協議調整を行うにあたり、関係耕作者の理解を得ながら事業を執行していく必要があります。							
	【前年度課題についての対応及び成果】 確定測量が終わり、登記が終われば本事業は完了となります。							
	【担当課による評価の理由】 登記、舗装工事を残すのみで、計画通りの進捗であるため進展ありとしました。							
今後の取り組みの方向	舗装工事を早期に着手、完了し、作付けが行えるように地元関係者との調整を密に行います。							

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1566	事業名	田越・笠見地区浸水対策事業		会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		□新規 ■継続		
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地費		
まちづくりビジョン	(5) 安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				① 自助・共助・公助による災害に強いまちづくり			
	重点事業							
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	65,618	879	0	0	0	800	79	
令和6年度(明許)	45,707	45,701	0	0	0	45,700	1	
事業の目的 (なんのために)	田越・笠見地区の浸水対策を実施し、農地及び周辺地域の湛水被害の防止を図ります。							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳	
農業用水路改修工事	笠見地区水路改修工事における分水部及び1号進入路について工事を行いました。					20,535	緊急自然災害防止対策事業債 町16	
土地購入費	笠見地区水路改修工事に係る工事用地について、買収を行いました。					1,559	緊急自然災害防止対策事業債 町26	
補償金	田越地区放水路新設に伴い、工事の支障となる建物や墳墓等の移転に対して補償を行うため、R7へ12,900千円繰越しました。					0		
田越放水路新設	田越地区放水路新設及び水路改修に係る測量設計業務を委託しました。 測量業務、設計業務 一式					24,486	緊急自然災害防止対策事業債 町37	
合計						46,580		
事業の主な 実施状況	①田越・笠見地区の浸水対策として、下記工事を発注しました。							
	内容		金額(千円)	備考				
	笠見地区農業用排水路改修工事(1号進入路)		722	46,083千円をR7へ繰越				
	工期: R6.6.17 ~ R6.8.9 工事請負金額: 722千円							
笠見地区農業用排水路改修工事(1工区)		19,813	明許分					
工期: R6.1.30 ~ R6.8.9 工事請負金額: 30,193千円								
②水路改修に伴う用地買収を行いました。								
内容		金額(千円)	備考					
土地購入費(事業用資産)		157	5,757千円をR7へ繰越					
土地購入費(事業用資産)		1,402	明許分					
③田越・笠見地区の浸水対策として、下記業務を委託しました。								
内容		金額(千円)	備考					
田越地区放水路新設及び水路改修測量設計業務		24,486	明許分					
履行期間: R5.6.21 ~ R6.7.31								
工事請負金額: 24,486千円								
担当課による評価			A 相当程度進展あり					
事業目的の 達成状況	【前年度の課題の概要】 当該水路下流は県が管理する二級河川であるため、河川管理者との調整が必要であること、水路改修における用地確保にむけ関係者の理解と協力を得ながら用地交渉を行う必要があります。							
	【前年度課題についての対応及び成果】 二級河川元旧川の管理者である県(鳥取県中部総合事務所県土整備局)と連携して、事業を進めております。							
	【担当課による評価の理由】 実施計画ロードマップに基づいて、浸水対策事業が進んでいるものと判断し、A 相当程度進展ありと評価しました。							
今後の取り組みの方向	田越・笠見地区浸水対策事業の実施計画ロードマップ(R3年度~R8年度)に基づいて、年次的に浸水対策を実施していきます。							

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1577	事業名	日本型直接支払交付金事業			会計区分	一般会計	
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係			□新規 ■継続	
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地費		
まちづくりビジョン	重点事業		(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			③ 農地・農業用施設の保全活動の推進		
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	151,273	150,077	0	113,615	0	0	36,462	
事業の目的 (なんのために)	近年、後継者不足、高齢化等による耕作放棄が相次いでおり、農業・農村が有する多面的機能の低下が懸念されています。農業振興地域の農地荒廃を防ぎ地域を活性化するために本交付金を交付します。							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳	
中山間地域等直接支払交付金	農業生産条件が不利な中山間地域において、農地荒廃を防いだ地域に交付金を交付しました。 集落協定数：38協定					71,648	国1/2、県1/4、町1/4	
その他事務費等	ファイル等事務用品を購入しました。					110	単町	
多面的機能支払交付金	活動組織へ交付金を交付することで、地域の共同活動を支援し、地域資源を適切に保全するとともに、担い手農家への農地集積を後押しします。 活動組織数：42組織					78,319	国1/2、県1/4、町1/4	
合計						150,077		

中山間地域の農地を保全するために中山間地域等直接支払交付金を交付しました。

地域	協定数	単価割合	面積		交付金額
			急傾斜	緩傾斜	
通常地域	38協定	10割	10407a	56383a	66,961,958円
		8割	149a	6929a	4,685,612円
合計	38協定	-	73869a		71,647,570円

(補助金負担割合：通常地域：国1/2、県1/4、町1/4)

多面的機能支払交付金として、以下のとおり交付しました。

活動項目	組織数	面積		交付金額
		田	畑	
農地維持	40組織	95,430a	19,988a	32,626,600円
資源向上（共同活動）	25組織	63,024a	19,988a	13,571,498円
資源向上（長寿命化）	38組織	88,783a	19,953a	32,121,042円
計	42組織	97,452a	19,988a	78,319,140円

(補助金負担割合 国：1/2、県：1/4、町：1/4)

事業の主な  
実施状況



施設の長寿命化・水路更新（上中村地域資源景観保全活動組織）



水路清掃作業（東伯水土里保全会）

担当課による評価

A 相当程度進展あり

事業目的の  
達成状況

**【前年度の課題の概要】**

高齢化に伴い担い手が不足しており、取り組みを断念する協定があるため、既存の協定及び取組みを中止した組織を含めて広域化等を行い、負担を軽減するための体制を整える必要があります。

**【前年度課題についての対応及び成果】**

**【中山間直接支払交付金事業】**

過疎法の改正・要件の見直しに伴い、琴浦等全域が過疎地域に指定され、中山間地域等直接支払制度の対象地域となりました。これに伴い、中山間地域等直接支払制度に取組む協定が2集落（赤碓水土里、下光好）増加しました。

**【多面的機能支払交付金事業】**

出上農地・水保全活動組織が優良事例として、第11回ディスカバー農山漁村の宝AWARDを受賞しました。

**【担当課による評価の理由】**

中山間地域等直接支払交付金事業では取組面積が5.7ha増加したためA判定としました。

今後の取組みの方向

**【中山間直接支払交付金事業】**

制度の改正により交付単価10割の交付条件に変更があったため、地元説明会の開催や協定書作成の支援を行います。

**【多面的機能支払交付金事業】**

農業者の高齢化や後継者不足による農村環境の荒廃を防ぐため、広域活動組織のさらなる広域化を推進することで、当該事業の継続を図る必要があります。

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1624	事業名	農業体質強化基盤整備促進支援事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課	担当係	農村整備係			□新規 ■継続			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地費			
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			③ 農地・農業用施設の保全活動の推進					
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広がる新たな魅力づくり							
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳						
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源		
令和6年度	1,100	1,069	0	803	54	0	212		
令和6年度(明許)	10,785	10,762	0	7,713	539	0	2,510		
事業の目的 (なんのために)	担い手への農地集積・集約化や、生産性向上、農業の高付加価値化を図る農地の大区画化・汎用化など、農地の整備を推進し、農業の構造改革を図る。								
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳		
森藤地区畑かん工事 繰越明許	森藤地区基盤整備事業にともない、畑かん設備を新設しました。					10,762	国55% 県20% 町20% 地元5%		
森藤地区畑かん追加工事	森藤地区畑かん工事の追加工事を行いました。					1,069	国55% 県20% 町20% 地元5%		
	合計					11,831			
事業の主な 実施状況	畑かんを設置する工事が完了しました。								
	項目	内容	事業費	備考					
	工事請負費	森藤地区畑地かんがい施設工事	16,451,600円	前払い金：4,620,000円(令和5年度支払) 完成払い：11,831,600円 現年：1,069,200円 繰越：10,762,400円					
事業目的の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成				
	【前年度の課題の概要】 令和5年度補正事業 工事が早期完了できるよう調整を行います。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 追加工事を発注し、工事を完成させました。								
今後の取り組みの方向	【担当課による評価の理由】 工事が完成したため、目標達成としました。								
	引き続き担い手農家の要望を聞き取り、農地集積・集約化を進めます。								

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書

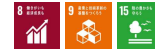


事業番号	194	事業名	一般事務		会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		□新規 ■継続		
予算区分	款	5 農林水産業費	項	2 林業費	目	1 林業総務費		
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				⑥ 企業のデジタル化と多様な働き方・雇用対策の推進			
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	7,676	6,747	0	2,965	3,615	0	167	
事業の目的 (なんのために)	林業振興のため、各種負担金の支払い、林道整備・点検等の事業を行います。							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳	
国有林野土地使用料	船上山国有林野内に設置した砂防ダム及び堰堤敷の貸付料を支払います。					5	単町	
林業労働者福祉向上推進事業負担金	林業労働者の共済年金掛金及び年末一時金支給の助成に対する負担金を公益財団法人鳥取県林業担い手育成財団へ支払いました。					116	単町	
治山林道協会負担金	治山林道協会へ負担金を支払いました。					20	単町	
鳥取県森林クラウドシステム使用料	クラウド上にある森林簿、林地台帳などを使用するため、使用料を支払いました。 年間利用料：198,000円					198	基金	
県緑化推進委員会負担金	緑の募金関連事業を行う県緑化推進委員会へ負担金を支払いました。					17	単町	
令和6年度林道橋点検業務	林道橋の適切な維持管理を行うため、13橋を対象に点検・診断を行いました。					5,281	県2,415、基金2,866	
林道本谷線測量業務	林道本谷線の修繕が必要な箇所の測量を行った。					1,100	県550、基金550	
天神川流域林業活性化センター負担金	中部地域の森林整備と木材生産を促進し、林業振興にかかる活動を行う団体へ負担金を支払いました。					10	単町	
	合計					6,747		
事業の主な実施状況	長寿命化計画に基づき、5年に1回の、林道橋の点検を行いました。							
	業務名	内容	事業費					
	令和6年度林道橋点検業務	林道橋13橋の点検	5,281,000円					
事業の主な実施状況	次年度修繕のため、林道の測量を行いました。							
	業務名	内容	事業費					
	林道本谷線測量業務	林道本谷線修繕箇所の測量	1,100,000円					
事業目的の達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり			
	【前年度の課題の概要】 事務事業のため前年度の評価なし							
	【前年度課題についての対応及び成果】 事務事業のため前年度の評価なし							
	【担当課による評価の理由】 森林クラウドシステムの運用が適正に行われたことにより、林業関係事業地の確認・地権者の場所の確認依頼（相続登記、伐採届）など業務の効率化につながりました。 各種事業の負担金・使用料の支払いが適切に行われ、関係業務が推進できました。							
今後の取り組みの方向	継続して林業振興を図るため、条件整備のため、事務事業を継続する必要があります。							

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	196	事業名	森林病害虫等防除事業			会計区分	一般会計								
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		□新規 ■継続									
予算区分	款	5 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費									
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成										
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり													
年度		最終予算額	決算額		事業費財源内訳										
					国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源						
令和6年度		676	616		0	616	0	0	0						
事業の目的(なんのために)	平成25年度から琴浦町でもナラ枯れ被害が確認されており、拡大を防ぐために県、大山周辺ナラ枯れ被害対策協議会と協議を行いながら対策を行います。														
細事業等	内容				決算額(千円)	財源内訳									
ナラ枯れ予防事業委託料	ナラ枯れの被害を抑制するため、カシナガトラップの設置を行いナラ枯れ被害の抑制を行いました。				616	県10/10									
合計					616										
事業の主な実施状況	<p>ナラ枯れ防止の為、カシナガキクイムシ駆除のため、カシナガトラップ設置・撤去を行いました。</p> <table border="1"> <tr> <th>場所(大字)</th> <th>設置本数</th> <th>トラップ数</th> </tr> <tr> <td>野井倉</td> <td>20本</td> <td>50個</td> </tr> </table> 									場所(大字)	設置本数	トラップ数	野井倉	20本	50個
場所(大字)	設置本数	トラップ数													
野井倉	20本	50個													
事業目的の達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり										
	<p><b>【前年度の課題の概要】</b> ナラ枯れの被害を抑制するため、カシナガトラップの設置等の継続が必要です。</p> <p><b>【前年度課題についての対応及び成果】</b> 継続してカシナガトラップの設置を実施し、ナラ枯れの被害を抑制しました。</p> <p><b>【担当課による評価の理由】</b> カシナガトラップの設置をにより、森林病害虫の被害を抑制したため。</p>														
今後の取り組みの方向	ナラ枯れ被害は収束傾向にあることから、今後は被害木の適切な処理などへの移行を検討する必要があります。														

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	201	事業名	林業振興対策事業	会計区分	一般会計														
担当課	農林水産課	担当係	農林水産振興係	□新規 ■継続															
予算区分	款 5 農林水産業費	項 2 林業費	目 2 林業振興費																
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成															
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広がる新たな魅力づくり																	
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳																
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源												
令和6年度	32,390	30,177	0	891	12,161	0	17,125												
事業の目的 (なんのために)	戦後植林した木材が伐期をむかえる中、材価低迷等による間伐搬出量の減少に歯止めをかけるために、県の助成事業に町が嵩上げをすることにより間伐施業を促進します。 森林環境譲与税を活用して、森林の適正な管理を図るため、経営管理権の集積計画策定を行います。																		
細事業等	内容		決算額 (千円)	財源内訳															
森林環境譲与税基金積立金	国から町へ交付される森林環境譲与税を基金へ積立しました。		17,080	単町															
竹林整備事業費補助金	荒廃した竹林整備を実施する森林組合等に、費用の一部を助成しました。 事業量：0.12ha 補助金額：532千円×8/10＝425千円 【歳入】竹林整備事業補助金 425千円		425	県10/10															
森林環境譲与税基金利子積立金	森林環境譲与税基金の利子積立金		46	基金46															
緊急間伐実施事業費補助金	間伐材搬出に要する経費の一部を助成しました。(補助単価 1,000円/m³) 中部森林：1,000円×2,990m³＝2,990千円 個人事業主：1,000円×200m³＝200千円		3,190	基金3,190															
林業再生事業費補助金	森林整備を促進するため、別宮地内の森林内作業道の整備に要する経費の一部を助成しました。 事業量：W＝2.5m、L＝150m 補助金額：583千円×8/10＝466千円 【歳入】林業再生事業費補助金 466千円		466	県10/10															
経営管理意向調査、集積計画作成等委託業務	森林管理の意向について、森林所有者に確認を行う業務を委託しました。対象地区：八反田、法万、宮場、森藤 令和6年度に森林管理の意向確認を行った森林(笠見、美好)のうち、市町村へ管理を希望する森林について経営管理の委託を行うため、現地調査を委託しました。		8,947	基金8,947															
竹粉砕機共同利用事業	北栄町と共同利用する竹の粉砕機のメンテナンスに掛かる費用の1/2を負担金として北栄町に支払いました。		23	基金23															
合計			30,177																
事業の主な実施状況	<p>①竹林整備事業(補助率：県8/10) 竹林整備に係る経費を補助しました。 1件(大字八橋0, 12ha)</p> <p>②林業再生事業補助金(補助率：県8/10) 林業作業道整備に係る経費を補助しました。 1件(大字別宮228m)</p> <p>③緊急間伐実施事業補助金(基金充当) 間伐施業を推進するため、補助を行いました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施主体(場所)</th> <th>事業量(m)</th> <th>補助金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取県中部森林組合</td> <td>2990.277</td> <td>2,990,277</td> </tr> <tr> <td>個人事業主</td> <td>200</td> <td>200,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3190.277</td> <td>3,190,277</td> </tr> </tbody> </table> <p>④竹の粉砕機共同利用負担金(北栄町1/2、琴浦町1/2) 共同利用している竹の粉砕機のメンテナンス費の1/2を負担しました。</p> <p>⑤森林経営管理法に基づく新たな森林経営管理を実施するため、森林所有者に対し、森林経営管理に関する調査業務を実施しました。 集積計画策定：(三保、光好、太一垣)2.03ha 森林所有者意向調査：(笠見、美好)66.43ha</p> <p>⑥森林環境譲与税(基金積立て) ・基金積立金：17,080,000円 ・利子積立金：45,600円</p>							実施主体(場所)	事業量(m)	補助金額(円)	鳥取県中部森林組合	2990.277	2,990,277	個人事業主	200	200,000	合計	3190.277	3,190,277
実施主体(場所)	事業量(m)	補助金額(円)																	
鳥取県中部森林組合	2990.277	2,990,277																	
個人事業主	200	200,000																	
合計	3190.277	3,190,277																	
	担当課による評価	A 相当程度進展あり																	
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 放置竹林や未間伐の森林が増えないよう、適正管理のための支援を継続して行うことが必要です。 林業の担い手・指導者への支援を継続して行うことが必要です。 森林の適正な管理に向けて、計画手金あ意向調査及び経営管理集積計画策定が必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 竹林の適正管理や未間伐森林の伐採のための支援を行いました。 森林整備につながる路網整備へ支援を行いました。 経営管理権集積計画策定に向け、森林所有者の意向を集約できました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 全町13地区に分けて13年計画で意向調査を進めており、現在6年目を終了し、計画どおり実施できているため「A」評価としました。</p>																		
今後の取り組みの方向	<p>放置竹林や未間伐の森林が増えないよう、適正管理のための支援を継続していくことが必要です。 林業の担い手・指導者への支援を継続して行うことが必要です。 森林の適正な管理に向けて、計画的な意向調査及び経営管理権集積計画策定が必要です。</p>																		

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書





事業番号	203	事業名	水産振興対策事業		会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		□新規 ■継続		
予算区分	款	5 農林水産業費	項	3 水産業費	目	1 水産総務費		
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成			
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広がる新たな魅力づくり						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	15,992	9,021	0	6,285	0	0	2,736	
令和6年度(明許)	21,312	21,311	0	15,000	0	0	6,311	



事業の目的 (なんのために) 県事業の負担処出、赤碓町漁業協同組合の運営経費の支援、同組合員の資金利子補給、共済掛金の負担軽減等を支援し、水産業の振興を図ります。

細事業等	内容	決算額 (千円)	財源内訳
鳥取県町村水産業振興対策協議会負担金	鳥取県地域振興対策協議会の運営負担金を支払いました。 ・負担金 75千円	75	単町
がんばる漁業者支援事業費補助金	漁業経費の増加、魚価の低迷に対し、漁業経営の改善を図る取り組みを支援しました。 ・1名 エンジンの購入 1,311千円(前年度繰越)	1,311	単町
栽培漁業地域支援対策事業補助金	赤碓町漁業協同組合が購入するキジハタの放流用種苗費用の一部を支援し、水産資源の確保・増産を図りました。 ・キジハタの種苗 3,140尾、運送 343千円	343	種苗費：県9/11、町2/11 運送費：単町
漁村センター管理費	漁村センターの管理運営費の支払いを行いました。 ・光熱水費、火災保険料、各種点検料等 505千円	505	単町
漁獲共済掛金軽減事業補助金	赤碓町漁業協同組合員の共済掛金の漁業者負担額の一部を助成することで、漁業者の負担を軽減しました。 ・組合員11名分 123千円(補助率：1/10以内)	123	単町
漁業近代化資金利子補給事業補助金	漁業近代化資金借受者の利子を助成し、漁業者の負担を軽減しました。 ・漁業者6名 187千円(補助率：町1/100以内)	187	単町
持続可能な栽培漁業推進事業補助金	赤碓町漁業協同組合が購入するアワビ・サザエの放流用種苗費用の一部を支援し、水産資源の確保・増産を図りました。 ・サザエ種苗 10,000個 97千円 ・アワビ種苗 14,250個 380千円	477	サザエ種苗：県2/3、町1/3 アワビ種苗：県3/5、町2/5
漁業経営開始円滑化事業費補助金	新規就業者が漁業経営を開始する時、または漁業経営開始後3年を経過するまでの間に必要な漁船・機器・漁具を漁協が整備してリースする経費を支援しました。 ・漁船及び漁労機器 1件(前年度繰越) 20,000千円(補助率：県1/2、町1/6)	20,000	県3/4、町1/4
もうかる6次化・農商工連携支援事業費補助金	水産物の高付加価値化を通じた漁協直売事業の再構築計画のプラン3年目であり、インフルエンサーによるInstagramへの投稿費等への支援を行いました。 ・店内外広告5枚、看板1枚、Instagram投稿8回 190千円(補助率：県1/3、町1/6)	190	県2/3、町1/3
主要水産産地共同利用施設等整備事業補助金	主要水産産地における共同利用施設などの整備を支援することにより、生産基盤の底上げを図りました。 ・新しいレールの敷設、給油供給伝票発行プリンターの導入 3,375千円(補助率：県1/3、町1/6)	3,375	県2/3、町1/3
水産多面的機能発揮対策補助金	環境・生態系の維持や回復、安心して活動できる海域の確保など、漁業者が行う水産業の多面的機能の発揮に資する海域の活動を支援しました。 ・補助金 20千円(参考：町15/100、国70/100、県15/100の並行補助)	20	単町
漁業研修事業補助金	新規漁業就業希望者に対し、漁業技術や経営方法を習得するための研修を行う際に必要となる指導経費、研修手当、研修用具費、通勤手当等の助成を行うことで漁業への就業促進を図りました。 ・雇用型研修：2名(新規) 3,011千円	3,011	雇用型研修 指導経費：町10/10、指導経費以外：県10/10
イワガキ岩盤清掃実証事業補助金	イワガキ増殖礁の岩盤清掃を実施し、効果を実証する活動への支援を行いました。 ・講習料、タンクレンタル等の装備等(4名) 715千円(補助率：県1/3、町1/3)	715	県1/2、町1/2
	合計	30,332	

事業の主な実施状況

- イワガキ岩盤清掃実証
- 主要水産産地共同利用施設等整備(レール)

- もうかる6次化・農商工連携支援(看板、横断幕)

事業目的の達成状況	担当課による評価	A 相当程度進展あり
<p><b>【前年度の課題の概要】</b> 持続可能な漁業を推進するため、放流活動の支援を継続して行うことが必要です。漁業の担い手及び指導者への支援を継続して行うことが必要です。</p> <p><b>【前年度課題についての対応及び成果】</b> 放流活動への支援を行うことで、水産物の安定供給、地域振興に資することができました。新たに漁業を開始する研修生と指導する漁業者両方への支援を行うことで、新規就業者の定着を後押しすることができました。</p>		

	<p><b>【担当課による評価の理由】</b>  放流活動への支援により水産物の安定供給に資することができました。  今年度は2名の漁業研修の修了生があり、新規就業者の定着につながりました。  水産物の高付加価値化を目指した漁協直売事業の再構築計画にかかる経費への支援により、漁協の経営運営の改善に資することができました。</p>
今後の取り組みの方向	<p>持続可能な漁業を推進するため、放流活動の支援を継続して行う必要があります。  漁業の担い手及び指導者への支援を継続して行う必要があります。</p>

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	667	事業名	現年発生農地災害復旧事業			会計区分	一般会計	
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係			□新規 ■継続	
予算区分	款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	目	1 現年発生農地災害復旧費		
まちづくりビジョン	(5) 安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				① 自助・共助・公助による災害に強いまちづくり			
	重点事業							
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	20	4	0	0	0	0	4	
令和6年度(明許)	5,103	3,966	0	3,693	86	100	87	
事業の目的 (なんのために)	自然災害により被災した農地について、国庫補助を受け復旧を行うことで農業の維持を図り、農業経営の安定に貢献します。							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳	
消耗品費	災害発生時の査定設計書作成に必要な図面用紙等を購入しました。(繰越分)					103	町87、地元16	
その他事務費等	消耗品を購入しました。(現年分)					4	単町	
工事請負費	R 5年災の農地災害復旧工事を1件(繰越分)実施しました。					3,863	県3,693、町債100、地元70	
	合計					3,970		
事業の主な 実施状況	○令和5年台風第7号で被災した農地について、災害復旧工事を行いました。							
	繰越区分	災害名	細事業等	内容	補助率	事業費(千円)	備考	
	繰越	令和5年台風第7号災害	災害復旧工事 1箇所	フトンかご	95.6%	3,966	工事請負費 3,863千円 消耗品費 103千円	
	令和5年災 33-1金屋地区災害復旧工事							
								
	【施工前】							
								
	【施工後】							
	担当課による評価			S 目的達成				
	事業目的の 達成状況	<p><b>【前年度の課題の概要】</b> 国補助事業を活用し、災害の発生防止を図るとともに、災害発生時の速やかな対応が名実な体制づくりが必要です。</p> <p><b>【前年度課題についての対応及び成果】</b> 災害復旧工事をを行い、生産機能の回復に努め、継続可能な農業の確立に貢献しました。</p> <p><b>【担当課による評価の理由】</b> 繰越した令和5年災はすべて完了しました。</p>						
今後の取り組みの方向	引き続き国補助事業を活用し、災害の発生防止に努めるとともに、災害発生時の速やかな対応が名実な体制づくりが必要です。							

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	770	事業名	現年発生農地小災害復旧事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係			□新規 ■継続		
予算区分	款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	目	1 現年発生農地災害復旧費			
まちづくりビジョン	(5) 安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				① 自助・共助・公助による災害に強いまちづくり				
年度		最終予算額	決算額		事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源		
令和6年度		350	275	0	124	28	0	123	
事業の目的 (なんのために)	自然災害により被災した農地について、国庫補助の災害復旧事業に該当しない小規模な農地の災害復旧を行うことで農業の維持を図り、その経営の安定に貢献します。								
細事業等	内容				決算額 (千円)	財源内訳			
工事請負費	農地小災害復旧工事を1件実施しました。				275	県40%、町50%、地元10%			
合計					275				
事業の主な 実施状況	<p>○令和6年7月豪雨により被災した農地について、災害復旧工事を行いました。</p> <p>(負担割合：県40%、町50%、地元10%)</p> <p>工事請負費 農地小災害復旧工事 1件 275千円</p> <p>令和6年災 小農-1赤碓地区小災害復旧工事</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【施工前】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【施工後】</p> </div> </div>								
事業目的の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成				
	<p><b>【前年度の課題の概要】</b> 国補助事業を活用し、災害の発生防止を図るとともに、災害発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。</p> <p><b>【前年度課題についての対応及び成果】</b> 災害復旧工事を行い、生産機能の回復を図り、継続可能な農業の確立に貢献しました。</p> <p><b>【担当課による評価の理由】</b> 工事は完了しました。</p>								
	<p>今後の取り組みの方向 早期発注、早期復旧が出来る体制づくりが必要です。</p>								

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	354	事業名	現年発生農業用施設災害復旧事業			会計区分	一般会計	
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		□新規 ■継続		
予算区分	款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	目	2 現年発生農業用施設災害復旧費		
まちづくりビジョン	(5) 安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				① 自助・共助・公助による災害に強いまちづくり			
		重点事業						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	7,199	2,788	0	1,393	37	0	1,358	
令和6年度(明許)	14,362	13,280	0	10,044	66	400	2,770	

事業の目的 (なんのために) 自然災害により被災した農業用施設について、国庫補助を受け復旧を行うことで農業用施設の有する多面的機能の確保を行い、農業経営の安定に貢献します。

細事業等	内容	決算額(千円)	財源内訳
その他事務費等	災害発生時の査定設計書作成に楯長となる図面用紙等を購入しました。(現年分)	2	単町
委託料	R 6年発生災害復旧工事書にかかる測量設計業務を委託しました。	2,786	県1/2、町1/2
工事請負費	R 5年災の農業用施設復旧工事を4箇所3工事(繰越分)を実施しました。	12,918	県10,044、町債100、町2,770、地元4
消耗品費	R 5年災にかかる事務費として消耗品等購入しました。(繰越分) 362千円	362	町債300、地元62
消耗品費	R 6年災分事務費として消耗品等を購入します。(110千円) R 7年度へ全額繰越しました。(110千円)	0	町債100、地元10
工事請負費	R 6年災農業用施設復旧工事(現年)を2箇所2工事発注しました。 R 7年度へ全額繰越しました。(4,300千円)	0	県2,460、町債300、町1,519、地元21
合計		16,068	

事業の主な実施状況 ○令和5年台風第7号・9月豪雨及び、令和6年11月豪雨で被災した農業用施設について、災害復旧工事を行いました。

繰越区分	災害名	細事業等	内容	補助率	事業費	備考
繰越	令和5年台風第7号災害	災害復旧工事 3箇所	ブロック積・ふとんかご等	98.7%	11,764	工事請負費 11,402千円 消耗品費 362千円
繰越	令和5年9月豪雨災害	災害復旧工事 1箇所	ふとんかご	95.6%	1,517	工事請負費 1,517千円
現年	令和6年11月豪雨災害	災害復旧工事 2箇所	ブロック積	86.1%	7,199	消耗品費 112千円 委託費 2,787千円 工事請負費 4,300千円

令和5年災 33-201福永地区災害復旧工事(繰越・道路)



令和6年災 33-201三保地区災害復旧工事(現年・水路)



【施工前】



【施工後】 R 7. 6月完成

令和6年災 33-202槻下地区災害復旧工事（現年・水路）



【施工前】



【施工後】 R 7. 5月完成

○令和7年度への繰越額 4,410千円

	担当課による評価	A 相当程度進展あり
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 国補助事業を活用し、災害の発生防止を図るとともに、災害発生時の速やかな体制づくりが必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 災害復旧工事を行い、生産機能の回復に努め、継続可能な農業の確立に貢献しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 令和5年災については完了しました。 令和6年災については、年度内に発注は完了しておりAと評価しました。</p>	
	<p>今後の取り組みの方向 引き続き国補助事業を活用し、災害の発生防止に努めるとともに、災害発生時の速やかな対応が名実な体制づくりが必要です。</p>	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	669	事業名	現年発生農業用施設小災害復旧事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		□新規 ■継続			
予算区分	款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	目	2 現年発生農業用施設災害復旧費			
まちづくりビジョン	(5) 安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				① 自助・共助・公助による災害に強いまちづくり				
	重点事業								
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					町債	一般財源
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)				
令和6年度	863	863	0	0	0	0	0	863	
事業の目的 (なんのために)	自然災害により被災した農業用施設について、国庫補助の災害復旧事業に該当しない小規模な農業用施設の災害に対し、復旧を行うことで農業用施設の有する多面的機能の確保を行い、農業経営の安定に貢献します。								
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳		
琴浦町農業用水緊急確保支援補助金	用水路として使用している水路の掘削、修繕に対する補助金					863	単町		
	合計					863			
事業の主な実施状況	国庫補助の災害復旧事業に該当しない小規模な農業用施設の災害復旧工事など地元に対し、補助金を交付しました。								
	○農業用水緊急確保支援補助金	(円)							
	内 容	事業費							
	災害復旧に係る地元対応に対する補助金	9件	863,319						
事業目的の達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり					
	【前年度の課題の概要】 水路整備等が実施出来る農地耕作条件改善事業等の国補助事業を活用し、災害の発生防止を図るとともに、災害発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 取水が困難となった防火用水を兼ねる農業用水の河川取水口の用水確保作業を支援し、受益者の負担軽減を図りました。災害復旧工事の早期発注を行い、農業用施設機能の回復を図り、継続可能な農業の確立に貢献しました。								
	【担当課による評価の理由】 災害発生時の水路整備等が実施できるよう速やかに現地確認や補助事務を行ったため A 相当程度進展あり と評価しました。								
今後の取り組みの方向	早期発注、早期復旧が出来る体制づくりが必要です。								

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	668	事業名	現年発生林道災害復旧事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		□新規 ■継続			
予算区分	款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	目	3 現年発生林道災害復旧費			
まちづくりビジョン	(5) 安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり					① 自助・共助・公助による災害に強いまちづくり			
	重点事業								
年度	最終予算額	決算額		事業費財源内訳					
				国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	4,705	2,589		0	1,220	0	0	1,369	
事業の目的(なんのために)	自然災害により被災した林道について、国庫補助を受け復旧を行うことで林道の維持を図り、その経営の安定に貢献します。								
細事業等	内容					決算額(千円)	財源内訳		
委託料	災害復旧工事に係る測量設計業務委託料					2,589	県1/2、町1/2		
工事請負費	林道災害復旧工事 1件(復旧工事は令和7年度へ繰越、令和7年5月発注)					0	県1/2、町1/2		
	合計					2,589			
事業の主な実施状況	○令和6年11月豪雨で被災した林道について、災害復旧工事のための設計を行いました。								
	区分	細節	業務名	内容	補助率	事業費	備考		
現年	委託料	令和6年度11月豪雨林道災害復旧測量・設計業務	令和6年11月の豪雨により被災した林道の災害査定・復旧工事のための測量調査設計	1/2	2,589千円	県：1,220千円 町：1,369千円			
 <p>(被災箇所：全景)</p>									
事業目的の達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
	<b>【前年度の課題の概要】</b> 林道整備事業等、国補助事業を活用し、災害の発生防止を図るとともに、災害発生時の速やかな対応が可能な体制作りが必要です。								
	<b>【前年度課題についての対応及び成果】</b> 復旧工事の設計を行いました。								
<b>【担当課による評価の理由】</b> 復旧工事の設計を行い工事発注ができる段階となったため、相当程度進展ありとしました。									
今後の取り組みの方向	引き続き林道整備事業等、国補助事業を活用し、災害の発生防止を図るとともに、災害発生時の速やかな対応が可能な体制作りが必要です。								

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1244等	事業名	船上山小水力発電所施設管理運営事業	会計区分	船上山発電所管理特別会計		
担当課	農林水産課	担当係	農村整備係	□新規 ■継続			
予算区分	款	1 電気事業費用	項	1 営業費用	目		
まちづくりビジョン	(5) 安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			③ 再生可能エネルギーの活用による脱炭素社会への転換			
重点事業							
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	27,624	21,282	0	0	21,282	0	0
事業の目的 (なんのために)	土地改良施設に再生可能エネルギー発電装置を設置する等の農村地域の再生可能エネルギー活用を積極的に導入し、土地改良施設の維持管理費の削減を図ります。						
細事業等	内容			決算額 (千円)	財源内訳		
繰出金	一般会計へ繰り出し、発電所建設に係る起債償還や土地改良負担軽減補助金の財源へ充当しました。			6,944	売電収入		
発電施設年次点検委託業務	推奨更新時期が到来した発電機器更新を行い、不測の故障による長期発電停止を防ぎました。			1,650	売電収入		
発電所点検委託業務	船上山ダムを水源に発電所を運転するため、運営に係る日常、緊急点検を船上山ダムの操作受託を受けている東伯地区土地改良区連合へ点検を委託しました。			3,488	売電収入		
電気保安業務委託業務	自家用電気工作物における点検を中国電気保安協会へ委託しました。			530	売電収入		
積立金	基金(欠損調整、災害準備、建設改良、修繕積立)への積み立てを行いました。			6,506	売電収入		
消費税納付	令和6年度の決算確定後に消費税の申告納付を行いました。			1,843	売電収入		
その他事務費等	流水占用料、NTT回線使用料、火災保険等の支出を行いました。			321	売電収入		
合計				21,282			
事業の主な 実施状況	①船上山発電所で発電業務を実施しました。						
	発電実績 570,400 kWh						
	売電収入 21,332,954円						
	②維持管理に必要な下記の経費について支払いを行いました。						
	内容	事業費(円)					
	発電所施設操作委託	3,488,100					
	自家用電気工作物保安管理業務	529,892					
	発電設備年次点検業務	1,650,000					
	施設経常経費(電気料金、通信費、建物共済費、流水占用料、公課費)	2,165,253					
	一般会計繰出金(町債償還分)	1,341,331					
一般会計繰出金(土地改良区連合運営費補助)	5,603,334						
基金積立(災害準備、修繕、利子分)	6,505,455						
合計	21,283,365						
③基金積立残高状況(R7.5.31時点)							
基金名称	金額(円)						
建設改良積立基金	47,627,038						
修繕積立基金	2,072,630						
欠損調整積立基金	13,260,000						
災害準備積立基金	25,040,433						
合計	88,000,101						
担当課による評価			A 相当程度進展あり				
事業目的の 達成状況	<b>【前年度の課題の概要】</b> 水車(ランナ)についてキャビテーションによる壊食が進行しており、部分的に金属パテによる補修対策を実施し効果を検証していく。						
	<b>【前年度課題についての対応及び成果】</b> 金属パテによる補修を部分的に実施した結果、金属パテが一部削れていたが、補修箇所のキャビテーション壊食は進行しておらず、補修による効果がありました。						
	<b>【担当課による評価の理由】</b> 耐用年数に応じた機器更新を行うなど、不測の機器故障による長期間発電ができない事態を回避したものと判断し、A 相当程度進展ありと評価しました。						
今後の取り組みの方向	「小水力発電施設の管理に係る発電事業会計の手引き」や「琴浦町電気事業経営戦略」に基づいて、建設改良積立等適切に基金を積み立てていきます。 年次点検の結果、水車(ランナ)についてキャビテーションによる壊食が進行しているため、令和7年度はランナ羽根部全数の金属パテ補修を実施します。						

